

## 設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ者	コクリツダイガクホウジン ヨコハマコクリツダイガク 国立大学法人 横浜国立大学
フリガナ大学の名称	ヨコハマコクリツダイガク 横浜国立大学 (Yokohama National University)
新設学部等において養成する人材像	<p>横浜国立大学経済学部は、国立大学では珍しい国際経済学科、その前身としての貿易学科を擁することを伝統的特徴としてきた。経済学部の前身である横浜高等商業学校も、横浜が我が国の貿易上重要な地位を占めるという理由で、横浜に設置されたという歴史を持つ。この伝統的特徴を活かして、グローバル化の深化に対応し、経済社会のイノベーションをもたらす人材の育成をこれまで以上に推進するために、従来の2学科体制から1学科体制へと改組する。(1)経済学の高い専門性を身につけるためのカリキュラムへと再編し、(2)英語による専門科目の開講による英語能力を強化するとともに、(3)統計的・数理的的分析能力も強化し、さらに(4)グローバル科目を通じて海外での適応能力を涵養する。また、(5)経営学部との共同によるGlobal Business &amp; Economics教育プログラムの新設を通じて、経済学と経営学の両方の専門性と、高い英語運用能力を持った人材を育成する。</p> <p>経済学部で育成する人材は、①ビジネスのグローバル化に対応し、海外での事業展開を強化する日本企業の国際部門で活躍できる人材である。アジアなど世界各国の多様な社会・経済・制度・歴史についてバランスのとれた知識と、国際経済についての高い専門知識を備えた人材を育成する。②金融機関(銀行・証券・保険等)で活躍できる人材を育成する。統計的・数理的的分析能力だけでなく、金融、ファイナンス、国際金融、国際貿易等の専門知識を修得することで、国際的なM&amp;A(企業の合併・買収)やリスク管理分析などを専門的に行う人材を育成する。③中央・地方の公務員として活躍する人材を育成する。国や地域が抱える多様な政策課題や経済社会問題に対して、ビッグデータの統計的・数理的的分析を通じて、イノベーティブな解決策を提示できる人材を輩出する。④グローバル企業で将来活躍することを目指す学生に対して、経営学部と共同で新設するGlobal Business &amp; Economics教育プログラムを通じて、経済学と経営学の両方の専門性を持ち、高い英語運用能力・コミュニケーション能力を持った人材を育成する。</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>経済学部における教育研究上の目的は、経済の理論・応用や地域の制度・歴史などについて研究を行うとともに、その成果に基づいて、数学・外国語・情報処理の基礎的学力を習得させる教育、経済の理論と現実についてバランスのとれた教育、貿易港横浜を背景とした国際色が豊かな教育、グローバル化する経済の仕組みが理解できる教育、地域の固有な条件(制度・歴史・文化・環境など)を深く洞察できる教育、キャリア形成を支援する教育などを総合的体系的に行い、経済社会の重要な問題を把握し、明晰な分析力を備えて、問題解決の方向を探求する力を持ち、必要な情報にアクセスしてそれらを分析、情報発信できる力をもった人材を養成することを目的とする。</p> <p>【経済システム学科】 経済システム学科において養成する人材像は、経済社会の問題を体系的に認識する能力を備えた人材。</p> <p>【国際経済学科】 国際経済学科において養成する人材像は、グローバル化する経済の仕組みへの理解と、地域の固有な条件(制度・歴史・文化・環境など)に対する深い洞察力を持ち、国際社会で活躍し、国際社会がかかえる問題の解決に貢献できる人材。</p>
新設学部等において取得可能な資格	なし
既設学部等において取得可能な資格	<p>【経済学部経済システム学科】〈中学校教諭一種免許状(社会)〉〈高等学校教諭一種免許状(公民)〉 ① 国家資格、②資格取得可能、③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【経済学部国際経済学科】〈中学校教諭一種免許状(社会)〉〈高等学校教諭一種免許状(公民)〉 ① 国家資格、②資格取得可能、③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期及び開設年次	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
	経済学部 [College of Economics]	経済学科 [Department of Economics]	4	238	3年次 15	982	学士(経済学)	経済学関係	平成29年4月 第1年次 平成31年4月 第3年次	経済学部 経済システム学科 国際経済学科 新規 計	18 15 5 38	10 10 0 20
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期及び開設年次	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
	経済学部	経済システム学科(廃止)	4	115	3年次 7	474	学士(経済学)	経済学関係	平成16年4月	経済学部 経済学科 退職 計	18 3 21	10 2 12
経済学部	国際経済学科(廃止)	4	115	3年次 8	476	学士(経済学)	経済学関係	平成16年4月	経済学部 経済学科 退職 計	15 2 17	10 2 12	

### 【備考欄】

#### ○学生募集停止

##### 教育人間科学部

人間文化課程(廃止) (△150)

※平成29年4月学生募集停止

##### 経営学部

経営学科(昼間主コース)(廃止) (△75)

経営学科(夜間主コース)(廃止) (△32)

会計・情報学科(廃止) (△70)

経営システム科学科(廃止) (△65)

国際経営学科(廃止) (△65)

※平成29年4月学生募集停止

##### 理工学部

建築都市・環境系学科(廃止) (△160)

※平成29年4月学生募集停止

#### ○当該申請等以外の申請等

経営学部経営学科 (287) (平成28年4月申請予定(事前伺い))

都市科学部 (248) (平成28年3月申請(意見伺い))

(2年次編入学定員) (2)

(3年次編入学定員) (5)

大学院教育学研究科

高度教職実践専攻 (15) (平成28年3月申請(意見伺い))

#### ○名称変更

平成29年4月名称変更予定

教育人間科学部 → 教育学部

理工学部

機械工学・材料系学科 → 機械・材料・海洋系学科

#### ○入学定員変更

理工学部

化学・生命系学科〔定員増〕 (12) (平成29年4月)

数物・電子情報系学科〔定員増〕 (17) (平成29年4月)

機械・材料・海洋系学科〔定員増〕 (45) (平成29年4月)

大学院教育学研究科

教育実践専攻〔定員減〕 (△15) (平成29年4月)

教育課程等の概要(事前伺い)

(経済学部経済学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次 ※開講時期の 横は開講ター ム	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
全学 教育科目	基礎科目 人文社会系	英米文学	1-2-3-4	④~⑤	2		○									兼1	
		音楽と自然	1-2-3-4	④~⑤	2		○									兼1	
		危機管理学	1-2-3-4	④~⑤	2		○									兼1	
		基礎造形A	1-2-3-4	④~⑤	2		○									兼1	
		経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	1-2-3-4	①~②	2		○									兼1	
		経済学の諸課題 I	1-2-3-4	①~②	2		○				1						
		経済学の諸課題 II	1-2-3-4	④~⑤	2		○				1						
		現代芸術論	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		現代政治(国際)	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		現代政治(日本)	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		現代の会計と社会	1-2-3-4	①~②	2		○										兼1
		現代の経済A	1-2-3-4	①~②	2		○										兼2
		現代の経済B	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼2
		現代の物流経営	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		鍵盤楽器の名曲	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		国際理解 国際交流における日本語の役割	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		国際理解 国際日本学入門	1-2-3-4	①~②	2		○										兼1
		国際理解 台湾の文化と社会	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		国際理解 日韓比較文化論	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		国際理解 日本語をめぐる国際交流史	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		色彩論	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		社会科学概論A	1-2-3-4	①~②	2		○										兼1
		社会科学概論B	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		社会科学の方法	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		社会科学の歴史	1-2-3-4	①~②	2		○										兼1
		社会生活と法	1-2-3-4	①~②	2		○										兼1
		宗教学	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		生涯発達論	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		職業と教育	1-2-3-4	①~②	2		○										兼1
		心理学B	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		心理学史入門	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		水彩画基礎技術	1-2-3-4	④~⑤	2		○										兼1
		地域課題実習 I	1-2-3-4	①~②	1					○							兼1
		地域課題実習 II	1-2-3-4	④~⑤	1					○							兼1
		地誌学概論	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼1
		中国の古典文学	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1
		哲学	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1
		東洋思想史	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼1
		都市と建築	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼10 オムニバス
		日本近現代史	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼1
		日本前近代史	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1
		日本国憲法	1-2-3-4	①~②、④~⑤	2			○									兼1
		日本の近代文学	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1
		日本の言語	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1
		美術の見かた	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1
人と自然のかかわり	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
人と動物の関係学	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
文化人類学の考え方	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
ベンチャーから学ぶマネジメント	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼1		
法と人間	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼1		
民族音楽学入門	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
木材と人間	1-2-3-4	④~⑤	2			○									兼1		
ヨーロッパ近現代史	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
ヨーロッパ文学	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
横浜学--地域の再発見--	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		
倫理学	1-2-3-4	①~②	2			○									兼1		

人文社会系	音声言語学概論	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	英語
	記述言語学概論	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	英語
	小計 (58科目)	-	0	114	0	-			1	1	0	0	0	兼57	
基礎科目 自然科学系	ICTナレッジマネジメント・コラボレーション	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼2	
	Webページ作成入門	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	衣生活の科学	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	エネルギー工学序論	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼2	共同
	エネルギーと環境	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	海洋工学と社会	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼11	
	環境化学概論	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	環境リスクとつきあう I	1・2・3・4 ①	1	○										兼3	オムニバス
	環境リスクとつきあう II	1・2・3・4 ②	1	○										兼3	オムニバス
	環境をめぐる諸問題 I	1・2・3・4 ④	1	○										兼5	オムニバス
	環境をめぐる諸問題 II	1・2・3・4 ⑤	1	○										兼5	オムニバス
	健康の科学	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	建築の環境と防災	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼8	オムニバス
	国土学とグローバル社会 I	1・2・3・4 ①	1	○										兼5	オムニバス
	国土学とグローバル社会 II	1・2・3・4 ②	1	○										兼5	オムニバス
	古生物の科学 I	1・2・3・4 ①	1	○										兼1	
	古生物の科学 II	1・2・3・4 ②	1	○										兼1	
	材料学入門	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼9	オムニバス
	実験で学ぶ物理学B	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	情報工学概論	1 ①～②	2	○										兼9	
	情報セキュリティ入門	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	情報と社会	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	情報ネットワークシステム入門	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	食環境論	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	数理科学 I	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼9	
	数理科学 II	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼9	
	数理科学概論	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼9	オムニバス
	生物地理学入門	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	生物の世界 I	1・2・3・4 ①	1	○										兼4	オムニバス
	生物の世界 II	1・2・3・4 ②	1	○										兼7	オムニバス
	生命科学	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	線形代数 I	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼9	
	線形代数 II	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼9	
	線形代数学入門	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	体験物理科学A	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼3	
	体験物理科学B	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼3	
地球環境と情報	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1		
地球と惑星の科学 I	1・2・3・4 ④	1	○										兼1		
地球と惑星の科学 II	1・2・3・4 ⑤	1	○										兼1		
地質リスクマネジメント I	1・2・3・4 ④	1	○										兼1		
地質リスクマネジメント II	1・2・3・4 ⑤	1	○										兼1		
統計学 I - A	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1		
統計学 II - A	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1		
微分積分 I	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼9		
微分積分 II	1・2・3・4 ④～⑤	2	○										兼9		
物理工学概論	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼21	オムニバス	
文系のための数学入門	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1		
身近な電気と機械	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1		
ICTプロジェクト	1・2・3・4 ③	2	○										兼1	英語・集中	
ICTリテラシー	1・2・3・4 ⑥	2	○										兼1	英語・集中	
	小計 (50科目)	-	0	86	0	-			0	0	0	0	0	兼116	
イノベーション 教育科目	知的財産権	3・4 ①～②	2	○										兼1	
	知的財産法	2・3 ④～⑤	2	○										兼1	
	小計 (2科目)	-	0	4		-			0	0	0	0	0	兼2	
	システム・エンジニアリング	1・2・3・4 ①～②	2	○										兼1	
	数理統計	2・3・4 ①～②	2	○					1						
	小計 (2科目)	-	0	4	0	-			1	0	0	0	0	兼1	
キャリア	Wake up! プロジェクト	1 ①～②	2	○										兼1	
	キャリア・ケーススタディ	2・3・4 ④～⑤	2	○										兼1	
	キャリアデザイン	1・2 ①～②	2	○										兼1	

イノベーション 教育科目	キャリア	グローバルビジネス・コミュニケーション	2・3・4 ④～⑤	2		○												兼1			
		ビジネス・コミュニケーション	2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1		
		まなび座Ⅰ・校友会リレートーク	1 ①～②	2		○													兼1		
		まなび座Ⅱ・リーダーシップ実践	2・3・4 ①～②	2		○													兼1		
		ライフキャリアを考える	1・2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1		
		生涯設計とグローバルキャリアデザイン	1・2・3・4 ①～②	2			○												兼1	英語	
		小計 (9科目)	— —	0	18	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	兼3		
グローバル 教育科目	国際交流	アカデミック・プレゼンテーションスキル	1・2・3・4 ④～⑤	2		○												兼1	英語		
		アラブの言語と文化	1・2・3・4 ④～⑤	2		○												兼1	英語		
		英語による異文化間理解	1・2・3・4 ④～⑤	2		○												兼1	英語		
		グローバルキャリア向け英文読解と要約	1・2・3・4 ①～②	2		○													兼1	英語	
		グローバルワーク向け英文読解と要約	1・2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1	英語	
		多言語・多文化運用演習A	1・2・3・4 ④～⑤	2			○												兼1	英語	
		多言語・多文化運用演習B	1・2・3・4 ①～②	2			○												兼1	英語	
		ビジネス・プレゼンテーションスキル	1・2・3・4 ①～②	2			○												兼1	英語	
	小計 (8科目)	— —	0	16	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	兼2			
	各国事情	インドネシア事情	1・2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1		
日本事情		1・2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1			
パラグアイ事情		1・2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1			
ブラジル事情		1・2・3・4 ④～⑤	2		○				1												
ベトナム事情		1・2・3・4 ④～⑤	2		○													兼1			
小計 (5科目)	— —	0	10	0	—				1	0	0	0	0	0	0	0	兼4				
健康ス ポーツ科 目	健康スポーツ演習B	1・2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼5			
	小計 (1科目)	— —	0	2	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	兼5			
全学教育 科目	英語	英語プレゼンテーション	1 ①～②, ④～⑤	1															兼4		
		英語ライティング	1 ①～②, ④～⑤	1															兼4		
		英語LR	1 ①～②, ④～⑤	1															兼4		
		自立英語	1 ①～②, ④～⑤	1															兼4		
		英語演習1 a	2・3 ①～②, ④～⑤	2			○												兼4		
		英語演習1 b	2・3 ①～②, ④～⑤	2			○												兼4		
		英語演習1 c	2・3 ①～②, ④～⑤	2			○												兼4		
		英語演習2 a	3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼4		
		英語演習2 b	3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼4		
	小計 (9科目)	— —	0	14	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	兼4			
	外国語 科目	初修 外国語	ドイツ語実習1 a	1・2・3 ①～②	1															兼2	
			ドイツ語実習2 a	1・2・3 ①～②, ④～⑤	1															兼2	
			ドイツ語実習1 b	1・2・3 ①～②, ④～⑤	1															兼2	
			ドイツ語実習2 b	1・2・3 ④～⑤	1															兼2	
			ドイツ語演習	2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼2	
			ドイツ語発展演習	2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼2	
			フランス語実習1 a	1・2・3 ①～②	1															兼1	
			フランス語実習1 b	1・2・3 ④～⑤	1															兼1	
			フランス語実習2 a	1・2・3 ①～②	1															兼1	
フランス語実習2 b			1・2・3 ④～⑤	1															兼1		
フランス語演習		2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼1			
フランス語発展演習		2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼1			
中国語実習1 a		1・2・3 ①～②	1															兼1			
中国語実習2 a		1・2・3 ①～②, ④～⑤	1															兼1			
中国語実習1 b		1・2・3 ①～②, ④～⑤	1															兼1			
中国語実習2 b		1・2・3 ④～⑤	1															兼1			
中国語演習		2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼2			
中国語発展演習		2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼2			
中国語海外演習		2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼2			
ロシア語実習1 a		1・2・3 ①～②	1															兼1			
ロシア語実習1 b	1・2・3 ④～⑤	1															兼1				
ロシア語実習2 a	1・2・3 ①～②	1															兼1				
ロシア語実習2 b	1・2・3 ④～⑤	1															兼1				
ロシア語演習	2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼1				
ロシア語発展演習	2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼1				
朝鮮語実習1	1・2・3 ①～②	1															兼1				
朝鮮語実習2	1・2・3 ④～⑤	1															兼1				
朝鮮語演習	2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼1				
朝鮮語発展演習	2・3・4 ①～②, ④～⑤	2			○												兼1				
イスパニア語実習1	1・2・3 ①～②	1															兼1				
イスパニア語実習2	1・2・3 ④～⑤	1															兼1				

全学 教育科目	初修 外国語	イスパニア語演習	2・3・4	①～②, ④～⑤	2			○										兼1		
		イスパニア語発展演習	2・3・4	①～②, ④～⑤	2			○											兼1	
		ギリシャ語	2・3・4	①～②, ④～⑤	1														兼1	
		ラテン語	2・3・4	①～②, ④～⑤	1														兼1	
		小計 (35科目)	—	—	0	48	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	兼10	
	外国語科目	日本語	日本語中級A	1, 2	①～②	1					○								兼1	
			日本語中級B	1, 2	①～②	1						○							兼1	
			日本語中級C	1, 2	①～②	1							○						兼1	
			日本語中級D	1, 2	①～②	1							○						兼1	
			日本語中級E	1, 2	①～②	1							○						兼1	
			日本語中級F	1, 2	①～②	1							○						兼1	
			日本語中級G	1, 2	①～②	1							○						兼1	
			日本語上級A	1, 2, 3	①～②	1							○							兼1
			日本語上級B	1, 2, 3	④～⑤	1							○							兼1
			日本語上級C	1, 2, 3	④～⑤	1							○							兼1
			日本語上級D	1, 2, 3	④～⑤	1							○							兼1
			日本語上級E	1, 2, 3	④～⑤	1							○							兼1
			日本語上級F	1, 2, 3	①～②	1							○							兼1
			日本語上級G	1, 2, 3	④～⑤	2							○							兼1
			日本語上級H	1, 2, 3	①～②	1							○							兼1
			日本語上級I	1, 2, 3	④～⑤	1							○							兼1
日本語上級J	1, 2, 3	④～⑤	1							○							兼1			
日本語上級K	1, 2, 3	①～②	1							○							兼1			
日本語演習A	1, 2, 3	④～⑤	2					○									兼1			
日本語演習B	1, 2, 3	④～⑤	2					○									兼1			
日本語演習C	1, 2, 3	①～②	2					○									兼1			
小計 (21科目)	—	—	0	25	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	兼6			
合計 (200科目)		—	—	0	341	0	—		3	1	0	0	0	0	0	0	0	兼204		
学部 教育科目	専門 基礎科目	ミクロ経済学入門	1	①～②	2			○												
		マクロ経済学入門	1	④～⑤	2			○		1										
		グローバル・エコノミー入門	1	④～⑤	2			○			1									
		ポリティカル・エコノミー入門	1	①～②	2			○		1										
		経済史入門	1	④～⑤	2			○		1										
		経済と倫理	1	①～②	2			○		1										
		法学入門	1	①～②	2			○										兼1		
		法哲学	1	①～②	2			○										兼1		
		コンピューター・リテラシー	1	①～②	2			○										兼4		
		データ解析	1	④～⑤	2			○										兼5		
		基礎演習	1	①～②	2			○		4	5							兼1		
	小計 (11科目)	—	—	2	20	0	—		8	7	0	0	0	0	0	0	0	兼8		
	専門 基幹科目	Global Economy	2・3	④	2			○			1								英語・GBE	
International Economics		2・3	①	2			○											兼1 英語・GBE		
経済原論1		2・3	①, ④	2			○		1									兼1		
経済原論2		2・3	②, ⑤	2			○		1									兼1		
ミクロ経済学1		2・3	①, ④	2			○			1								兼1		
ミクロ経済学2		2・3	②, ⑤	2			○			1								兼1		
マクロ経済学1		2・3	①, ④	2			○			1								兼1		
マクロ経済学2		2・3	②, ⑤	2			○			1								兼1		
現代経済システム1		2・3	①, ④	2			○		1									兼1		
現代経済システム2		2・3	②, ⑤	2			○		1									兼1		
経済史1		2・3	①, ④	2			○		1									兼1		
経済史2		2・3	②, ⑤	2			○		1									兼1		
小計 (19科目)	—	—	0	38	0	—		7	5	0	0	0	0	0	0	0	兼7			

学部教育科目	専門応用科目Ⅰ	国際貿易政策	2・3・4 ①～②	2		○		1							兼1		
		国際金融	2・3・4 ①～②	2		○											
		現代外国為替論	2・3・4 ①	2		○		1									
		国際環境経済論	2・3・4 ①～②	2		○		1									
		途上国経済	2・3・4 ①～②	2		○		1									
		中国経済	2・3・4 ①	2		○		1									
		ロシア東欧経済	2・3・4 ①	2		○		1									
		比較経済学	2・3・4 ①	2		○				1							
		ゲーム理論	2・3・4 ①～②	2		○										兼1	
		金融論	2・3・4 ④	2		○		1									
		財政学	2・3・4 ①	2		○										兼1	
		ファイナンス	2・3・4 ①	2		○				1							
		公共経済学	2・3・4 ④	2		○				1							
		労働経済学	2・3・4 ①	2		○		1									
		産業組織論	2・3・4 ①～②	2		○					1						
		比較農業政策	2・3・4 ①	2		○						1					
		地域経済政策	2・3・4 ①～②	2		○							1				
		現代社会福祉	2・3・4 ④	2		○							1				
		地方財政	2・3・4 ①～②	2		○							1				
		国際経済史	2・3・4 ①～②	2		○		1									
		アジア経済史	2・3・4 ④	2		○				1						隔年	
		日本経済史	2・3・4 ①～②	2		○						1					
		現代経済史	2・3・4 ①～②	2		○		1									
		経済学史	2・3・4 ④～⑤	2		○		1									
人・物と法	2・3・4 ①～②	2		○										兼1			
取引と法	2・3・4 ④～⑤	2		○										兼1			
契約と法	2・3・4 ④～⑤	2		○										兼1			
刑事法	2・3・4 ④～⑤	2		○										兼1			
国際法	2・3・4 ④～⑤	2		○										兼1			
小計 (29科目)			—	—	0	58	0	—	—	—	—	—	—	—	兼7		
学部教育科目	グローバル経済	中級世界経済	3・4 ⑤	2		○				1							
		中級国際経済史	3・4 ④～⑤	2		○		1									
		中級アジア経済史	3・4 ⑤	2		○					1						
		中級国際環境経済	3・4 ④～⑤	2		○		1									
		中級比較農業政策	3・4 ②	2		○					1						
		中級途上国経済	3・4 ④～⑤	2		○		1									
		中級中国経済	3・4 ②	2		○		1									
		中級ロシア東欧経済	3・4 ②	2		○		1									
		International communication	3・4 ④～⑤	2		○		1								隔年・英語・GSE	
		中級世界経済 分野別演習	3・4 ⑤	1		○					1						
		中級国際経済史 分野別演習	3・4 ④～⑤	1		○		1									
		中級アジア経済史 分野別演習	3・4 ⑤	1		○					1						
		中級国際環境経済 分野別演習	3・4 ④～⑤	1		○		1									
		中級比較農業政策 分野別演習	3・4 ②	1		○					1						
		中級途上国経済 分野別演習	3・4 ④～⑤	1		○		1									
		中級中国経済 分野別演習	3・4 ②	1		○		1									
		中級ロシア東欧経済 分野別演習	3・4 ②	1		○		1									
		International communication 分野別演習	3・4 ④～⑤	1		○		1								隔年・英語・GSE	
		学部教育科目	現代日本経済	中級財政学	3・4 ②	2		○									兼1 隔年
				中級公共経済学	3・4 ⑤	2		○				1					
中級労働経済学	3・4 ②			2		○			1								
中級現代社会福祉	3・4 ⑤			2		○					1						
中級地域経済政策	3・4 ④～⑤			2		○						1					
中級地方財政	3・4 ④～⑤			2		○						1					
中級日本経済史	3・4 ④～⑤			2		○						1					
中級現代経済史	3・4 ④～⑤			2		○			1								
Language communication and ident	3・4 ④～⑤			2		○			1							英語・GSE	
中級財政学 分野別演習	3・4 ⑤			1		○										兼1 隔年	
中級公共経済学 分野別演習	3・4 ②			1		○					1						
中級労働経済学 分野別演習	3・4 ⑤			1		○		1									
中級現代社会福祉 分野別演習	3・4 ⑤			1		○						1					
中級地域経済政策 分野別演習	3・4 ④～⑤			1		○							1				
中級地方財政 分野別演習	3・4 ④～⑤	1		○								1					





学部 教育 科目	専門 応用 科目 その他	【英語演習】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		English for Academic Purpose (EAP)	2	①~②, ④~⑤	2					○			1					兼5	
		English for Economics and Business (EEB)	2	①~②, ④~⑤	2					○			1						兼1
		Advanced EAP A	2	①~②, ④~⑤		2				○			1						兼1
		Advanced EAP B	2	①~②, ④~⑤		2				○			1						兼1
		Advanced EEB 1	3-4	①~②		2				○									兼1
		Advanced EEB 2	3-4	④~⑤		2				○									兼1
		【演習】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		ゼミナール I	3	①~⑥		4				○			20	17					兼1
		ゼミナール II	4	①~⑥		4				○			20	17					兼1
		小計 (20科目)	-	-	4	40	0			-			20	17	1	0	0		兼15
合計 (161科目)			-	-	6	279	0				20	17	1	0	0		兼49		
総計 (361科目)			-	-	6	620	0				20	17	1	0	0		兼253		
学位又は称号		学士 (経済学)			学位又は学科の分野				経済学関係										

## 設置の趣旨・必要性

### 概要

- ◆ 横浜国立大学経済学部は、グローバル化の深化に対応し、経済社会のイノベーションをもたらす人材の育成を抜本的に強化するために、従来の2学科体制から1学科体制へと改組する。(1)経済学の高い専門性を身につけるためのカリキュラムに再編し、(2)英語による専門科目の開講を通じて英語能力を強化する。(3)統計的・数理的分析能力を強化し、(4)グローバル科目を通じて海外での適応能力を涵養する。(5)経営学部との共同によるGlobal Business and Economics 教育プログラムの新設によって、経済学と経営学の両方の専門性と、高い英語運用能力を持った人材を育成する。

### I. 設置の趣旨・必要性

#### 1. 経済学部経済学科の設置趣旨と人材養成目的

##### ①経済社会の変化と経済学部卒業生に求められる能力

- ◆ 経済のグローバル化が進展し、日本企業はアジアを中心とした海外での事業活動を積極的に展開している。これまで経済システム学科と国際経済学科の2学科体制をとっていたが、今や経済学を学ぶ上で、国内、国際と地理的範囲を分ける必要性はほとんどなく、日本国内の経済問題も国際的な視点から分析することが不可欠となっている。1学科体制の新しいカリキュラムのもとで、(1)経済学の高い専門性を修得し、(2)国際的な視野を持った人材を育成する。
- ◆ 企業においてもグローバルな事業展開に対応できる人材が一段と求められている。経団連のアンケート結果によると、グローバル事業で活躍する人材に求められる素質、知識・能力として、「海外との社会・文化、価値観の差に興味・関心を持ち、柔軟に対応する姿勢」、「英語をはじめ外国語によるコミュニケーション能力を有する」が上位に位置している（日本経済団体連合会「グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果」2015年3月17日、7頁）。
- ◆ 上記の「海外での適応能力」や「英語によるコミュニケーション能力」に加えて、「経済学の専門性」を有することが企業から求められている。経済・経営両学部が企業や行政機関で活躍する経済人8名にヒアリング調査（2015年7月～8月）を行った結果、それぞれの学部で修得した専門性によって、入社後に能力を発揮する（活躍する）職種や部署が異なると指摘された。
- ◆ 経済学部の卒業生の業種別就職先をみると、グローバル展開する製造業以外に、金融・保険業、そして公務員が大きなシェアを占めている。これらの企業、金融機関、行政機関で経済学部卒業生が活躍できるよう、1学科体制へと改組し、(1)経済学の専門知識、(2)英語力と(3)情報数理リテラシーという基本的素養、そして(4)海外諸国の多様な社会・経済・制度・歴史に関する知識に基づく海外での適応力、の4つを修得するカリキュラ

ムへと再編する。

## ②育成する人材像

- ◆ 経済学部で育成する人材は、第1に、ビジネスのグローバル化に対応し、国際的な事業展開をする日本企業で活躍できる人材である。アジアなど世界各国の多様な社会・経済・制度・歴史についてバランスのとれた知識と、国際経済についての高い専門知識を備えた人材を育成する。
- ◆ 第2に、金融機関（銀行・証券・保険等）で活躍できる人材である。金融、ファイナンス、国際金融、国際貿易等の専門知識を修得し、統計的・数理的分析能力を身につけることで、国際的な M&A（企業の合併・買収）やリスク管理分析などを専門的に行う人材を育成する。
- ◆ 第3に、中央・地方の公務員として、国や地域が抱える経済社会問題を経済学の知識をもとに統計的・数理的方法で分析し、イノベーティブな解決策を提示できる人材を育成する。
- ◆ なお、従来の第3年次編入学も継続し、すでに社会人としての実務経験を積んだ者や、他大学での一定の教育と社会的な活動を経てきた高い問題意識を持つ学生にも、本学部で経済学を学ぶ機会を提供する。

## 2. 経済学部経済学科の特色

### ①1 学科体制の2つの特色

- ◆ 新しい「経済学科」では、(1)統計的・数理的手法に基づく経済分析を重視していた経済システム学科の特色を活かし、学部全体で統計的・数理的分析能力を強化するとともに、(2)グローバル経済の学修を重視していた国際経済学科の特色も活かし、学部全体でグローバル経済を学ぶ体制を整える。
- ◆ (1)統計的・数理的分析能力：入学初年度は必修科目の「基礎演習」で情報リテラシーの基礎を学ぶ。また、「コンピューター・リテラシー」と「データ解析」を開講し、情報処理能力・数値解析の標準的手法を修得できる体制を整える。2年次以降も専門基幹科目や専門応用科目Ⅱにおいて数理統計、計量経済学の専門的な内容を体系的に学修する。
- ◆ (2)グローバル経済の学修：初級レベルの「専門基幹科目」と「専門応用科目Ⅰ」を通じて、グローバル化時代の経済学を各国各地域の歴史・制度・政治的背景を含めバランスよく学修する。また、英語によるグローバル関連科目（「Global Economy」と「International Economics」）、日本語および英語による「課題プロジェクト演習」、「英語討論」を受講することでグローバル化に対応した実践力を身につける。

### ②人材育成のための新たなプログラム

- ◆ 経済学の専門性に加えて、歴史、制度、政治的背景も含む外国経済事情の理解と海外での適応能力、コミュニケーション力を含む実践的な英語力、統計的・数理的分析能力を備えた人材の育成を実現するために、経済学部のこれまでのリテラシー教育、実践的国

際交流教育、課題解決型教育、海外短期留学推進の成果を前提として、専門教育レベルの教育プログラムを刷新する。

- ◆ 入学後の初年度教育として、全学教育科目による一般教養を身につけるとともに、専門基礎科目のうちの6講義を通じて経済学の基礎を学修する。また、少人数・双方向型の「基礎演習」によって必修リテラシーを身につけるとともに、情報リテラシーの基礎を学ぶ。また、「コンピューター・リテラシー」と「データ解析」を受講して情報処理能力・数値解析の標準的手法を修得する。
- ◆ 2学科から1学科体制に改編するのにもない、専門教育を初級レベルと中級レベルの2つに分ける。初級レベルの「専門基幹科目」と「専門応用科目Ⅰ」では、グローバル化時代の経済学を全国各地域の歴史・制度・政治的背景を含めバランスよく学修する。
- ◆ 中級レベルの「専門応用科目Ⅱ」では、5つの専門分野を設定し、学生は主分野、副分野の2つの分野を選択する。この中級レベルにおける分野選択は、経済学の基礎を幅広く学んだうえで自らに合った分野を選択する **late specialization** を可能にし、知識の融合・俯瞰が重要化している時代の教育プログラムに適合している。加えて、各学生が経済学の専門能力向上に能動的・主体的に取り組む意識を涵養し、自らのキャリア・パスを考え、計画する機会となる。
- ◆ 中級レベルで主分野、副分野を組み合わせることで学修することにより、従来の学科の枠にとらわれない多様な人材を供給することが可能となる。(1)「グローバル経済」分野と「金融貿易分析」分野を選択することで、日本の上場企業の海外部門で活躍できる人材を育成する。(2)「金融貿易分析」分野と「経済数量分析」分野を学修して、金融イノベーションを推進する人材を銀行・証券・保険業界に輩出する。(3)「現代日本経済」分野もしくは「法と経済社会」分野と「経済数量分析」分野を学修することで、地方自治体のビッグ・データを活用して地域経済を数量的に分析し、実践的解決策をデザインできる人材を地方公務部門に送り出す。なお、現行の2学科体制では、経済システム学科に法律系教員が担当する「法と経済コース」があるが、1学科体制への改組後は、同コースを「法と経済社会」分野として位置づける。
- ◆ 初級から中級レベルにかけて、グローバル社会で通用する実践力を身につけるための科目を提供する。(i)2年次から「課題プロジェクト演習」を日本語と英語の両方で開講する。日本語科目として「途上国経済」、「現代アジア経済史」、「地域経済」という、グローバルとローカル（地域）に関するバランスのとれたテーマを設定し、アクティブ・ラーニング、課題解決型学修、双方向学修を取り入れることで、コミュニケーション能力、組織能力を向上させる。さらに、「Economic Theory」、「Applied Economics」、「International Economic Policy」、「The Japanese and International Economies」、「Public Policy」、「Speech and Debate on Economic Issues」という英語科目を開講することで、経済学の理論、国際経済、公共政策に関する英語での実践的な課題解決能力を養う。(ii)初級レベルの専門基幹科目で「Global Economy」と「International

Economics」を開講し、グローバル経済の基礎を英語で学ばせる。さらに、(iii)中級レベルの専門応用科目 II において各専門分野に英語による授業科目を設定し、英語で経済学を段階的に学修するとともに日常的に運用する機会を与える。また、(iv)従来から進めてきた長期・短期留学の一層の拡大と、欧州・アジアの大学との英語討論を通じて、学生の実践的英語運用能力を引き上げる相乗効果が期待される。

## II. 教育課程編成の考え方・特色

### 1. 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

#### DP 視点 1: 学位授与(卒業)するために修得しておくべき学修成果 (身に付ける能力)

経済社会の重要な問題を把握し、明晰な分析力を備えて、問題解決の方向を探求する力を持ち、必要な情報にアクセスしてそれらを分析、情報発信できる力をもった人材を養成する。

#### DP 視点 2: その身に付ける能力を第 3 期中期計画前文「日本社会が直面する諸課題の解決に国際的視点から貢献するイノベーティブな人材」の育成視点から整理

経済学部で身に付ける技能・能力

- ◆ グローバル化・多極化の進展と新興国・地域の勃興にともなう経済社会の課題を、国や地域の固有な条件(制度・歴史・文化・商習慣・法制度・環境など)に適応して、深い洞察力を備え把握する能力を身に付ける。
- ◆ 日本経済は出生率低下と高齢化による生産年齢人口の減少、労働生産性の低迷、国内市場縮小が進み、国際競争力の低下が懸念されている。海外労働力と海外市場の成長性を取り込んで生産性向上を図り、さらに省エネルギー、自然災害への取組、高齢化問題、社会福祉といった経済社会問題を解決するためのイノベーティブな経済社会メカニズムをデザインする能力を身に付ける。
- ◆ グローバルまたはローカルな諸課題に対して必要な情報・データにアクセスし、明晰な分析を加え、情報発信できる能力を身に付ける。その際、数学・外国語・情報処理の能力を駆使して、経済学の専門知識と統計的・数的手法をもとにイノベーティブな解決策を提案できる技能を身に付ける。
- ◆ アジアで展開するグローバルビジネス、世界規模で連動する金融取引、日本のローカルでの公共政策の実施といった局面で発揮することが期待されるコミュニケーション能力、実践的英語力、リーダーシップを身に付ける。

#### DP 視点 3: 卒業認定の質的水準 (卒業判定基準とその認定に用いる学修成果等)

以下の卒業要件を満たした者に対して卒業を認定し、「学士 (経済学)」を授与

- ・経済学部に 4 年以上在学
- ・卒業論文を提出し合格

- ・全学教育科目 34 単位以上、学部教育科目 90 単位以上、合計 124 単位以上を修得
- ・卒業認定時に通算 GPA が 2.0 以上

## 2. 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

### CP 視点 1：教育システムとカリキュラムの基本構造（学修計画や心構え等を含む）

#### ◆ <カリキュラム・ポリシー>

ディプロマ・ポリシーで掲げた人材を養成するために、以下に掲げる項目を総合的体系的に行う。

- ・数学・外国語・情報処理の基礎的学力を修得させる教育
- ・経済の理論・応用や地域の制度・歴史などについてバランスのとれた教育
- ・貿易港横浜を背景とした国際色が豊かな教育
- ・グローバル化する経済の仕組みが理解できる教育
- ・地域の固有な条件(制度・歴史・商習慣・法制度・環境など)を理解する教育
- ・キャリア形成を支援する教育

### CP 視点 2：身に付ける能力（DP）に対し「日本社会が直面する諸課題の解決に国際的視点から貢献するイノベティブな人材の育成」の視点でのカリキュラムの特色

#### ◆ <基礎演習>

入学直後の導入教育と少人数・双方向授業を行い、新入生が所属するクラスとしての役割を果たす。そこでは、YNU（横浜国立大学）の3つのリテラシー（アカデミック・リテラシー、シビック・リテラシー、情報リテラシー）を修得する。アカデミック・リテラシーは、問題発見、リサーチ・レポート作成、プレゼンテーション技法といった大学で学修する上で必要となる技能。シビック・リテラシーは倫理、道徳、マナー、態度、公の問題への意識といった大学での学修を推進する上で守るべきもの。情報リテラシーは情報処理・数値解析の前提となる基礎的な統計・計算能力である。

#### ◆ <英語科目>

全学教育科目では英語科目の8単位を必修とする。経済学部では全学生 TOEFL500 点獲得を目標とし、TOEFL 得点向上に向けたフォローシステムのある授業体系を履修する。また留学希望者は TOEFL550 点獲得を目標にした少人数クラスや英語演習科目でよりレベルの高い英語教育を受ける。

#### ◆ <数学>

学部1年生は自然科学系で微分積分学と線形代数を学ぶことができる。微分積分学と線形代数は経済学の数理解と応用に必要であり、経済社会の諸課題のイノベティブな解決に役立つ。

#### ◆ <情報リテラシー科目>

専門基礎科目の「コンピューター・リテラシー」と「データ解析」は1年生向けの少人

数教育で実施する。そこでは標準的な情報処理能力・数値解析・統計分析の手法を修得する。

◆ <高度全学教育科目>

グローバル教育科目において、言語、歴史、文化、政治的背景とともに新興国の経済事情の理解を図る。イノベーション教育科目では技術革新や社会実装に関わる内容を学修する。

◆ <海外短期留学推進>

海外協定校への短期留学派遣と「Applied Economics Intensive（海外の大学でのサマースクール）」の実施。

◆ <英語討論（欧州・アジア）>

コミュニケーション能力の強化と実践的国際交流の技法を学ぶ。

◆ <専門基幹科目と専門応用科目Ⅰ>

初級レベルの専門科目群。2年次から履修できる科目群。グローバル化時代の経済学を全国各地域の歴史・制度・政治的背景を含めバランスよく学修する。英語によるグローバル関連科目と統計分析・数理分析科目を選択必修とし、経済学専門能力の共通の基盤とグローバル化に対応した実践力の基礎を学修する。

◆ <専門応用科目Ⅱ>

中級レベルの専門科目群（3年次から履修可能）では、「グローバル経済」、「金融貿易分析」、「現代日本経済」、「経済数量分析」、「法と経済社会」の5つの専門分野を設定し、学生は主分野、副分野の最低2つの分野を選択する。

（例1）：「金融貿易分析」と「経済数量分析」の2分野を選択した場合、グローバル化する金融イノベーションの知識・技法を修得できる。

（例2）：「現代日本経済」と「経済数量分析」の2分野を選択した場合、地方自治体・公共団体のビッグ・データの活用による地域経済の数量分析を通じて実践的解決策をデザインできる能力を獲得できる。

◆ <課題プロジェクト演習>

初級から中級レベルにかけて、日本語と英語で「課題プロジェクト演習」を開講する。アクティブ・ラーニング、課題解決型学修、双方向学修を取り入れることで、日本語および英語でのコミュニケーション能力、組織能力といった実践力の向上を目指す。

◆ <英語による授業科目>

中級レベルの専門分野に英語による授業科目を設定することで、学生が経済に関して外国語を日常的に運用する機会を与える。

CP視点3：入学（初年次教育）から卒業（卒業判定）までの学修指導や支援の方針

◆ <授業別ルーブリック（シラバス）の利用>

ディプロマ・ポリシーと各授業との関係をあらわすカリキュラムマップに記載された段

階的到達目標を授業別ルーブリック(シラバス)に明記し学習指導をおこなう。学生は興味関心に基づいて効果的・系統的に学修することができる。

◆ <初年度教育>

入学後の初年度教育として、1年次は全学教育科目による一般教養を身につける。少人数・双方向型の「基礎演習」を受講して必修リテラシーを身につける。「専門基礎科目」10講義の中には、経済学の基礎科目6講義、法律の基礎科目2講義、そして情報リテラシー科目2講義がある。この専門基礎科目を通じて、経済学と法律の基礎と基本的な情報処理能力・数値解析の手法を修得する。

◆ <専門教育>

専門教育を初級レベルと中級レベルの2つに分けて、英語による授業科目も提供する。2年次から履修可能な初級レベル（「専門基幹科目」と「専門応用科目Ⅰ」）では、グローバル化時代の経済学を全国各地域の歴史・制度・政治的背景を含めて広範かつバランスよく学び、経済学の基本的な分析手法を修得する。

3年次から履修する中級レベル（「専門応用科目Ⅱ」）では、5つの専門分野（「グローバル経済」、「金融貿易分析」、「現代日本経済」、「経済数量分析」、「法と経済社会」）を設定する。学生は、主分野（8単位履修）、副分野（4単位履修）の最低2つの分野を選択し、現代の複雑な経済関係を理解する能力を身につける。

◆ <実践的教育>

グローバル社会で通用する実践力を身につけるために、2年次から多様な実践的教育科目を履修する。(i)2年次から履修する「課題プロジェクト演習」では、課題解決型・双方向型学修を取り入れる。日本語科目である「途上国経済」、「現代アジア経済史」、「地域経済」では、現代的な経済課題を題材としながら、コミュニケーション能力、組織能力といった実践力を養う。英語科目である「Economic Theory」、「Applied Economics」、「International Economic Policy」、「The Japanese and International Economies」、「Public Policy」、「Speech and Debate on Economic Issues」では、経済学の理論、国際経済、公共政策に関わるテーマに取り組み、英語での実践的な課題解決能力を向上させる。(ii)初級レベルの専門基幹科目で「Global Economy」と「International Economics」を受講し、基礎的な経済学的手法を用いてグローバル経済の現状を英語で学ぶ。(iii)中級レベルの専門応用科目Ⅱで設定される各専門分野の英語による授業科目を履修し、英語で経済学を段階的に学修する。(iv)さらに「Applied Economics Intensive（海外の大学でのサマースクール）」への参加等を通じて、実践的な英語運用能力を向上させる。また、欧州・アジアの大学との「英語討論」に参加して、現代経済の諸課題を英語で討論する能力を身につける。

◆ <ゼミナール>

3年次から始まるゼミナールでは、指導教員の下で特定の研究テーマに基づく少人数双方向教育を行う。4年次に研究の成果として卒業論文を完成させる。



# 経済学部改組の概要 (社会的要請を受けた教育改革と新しい人材育成)



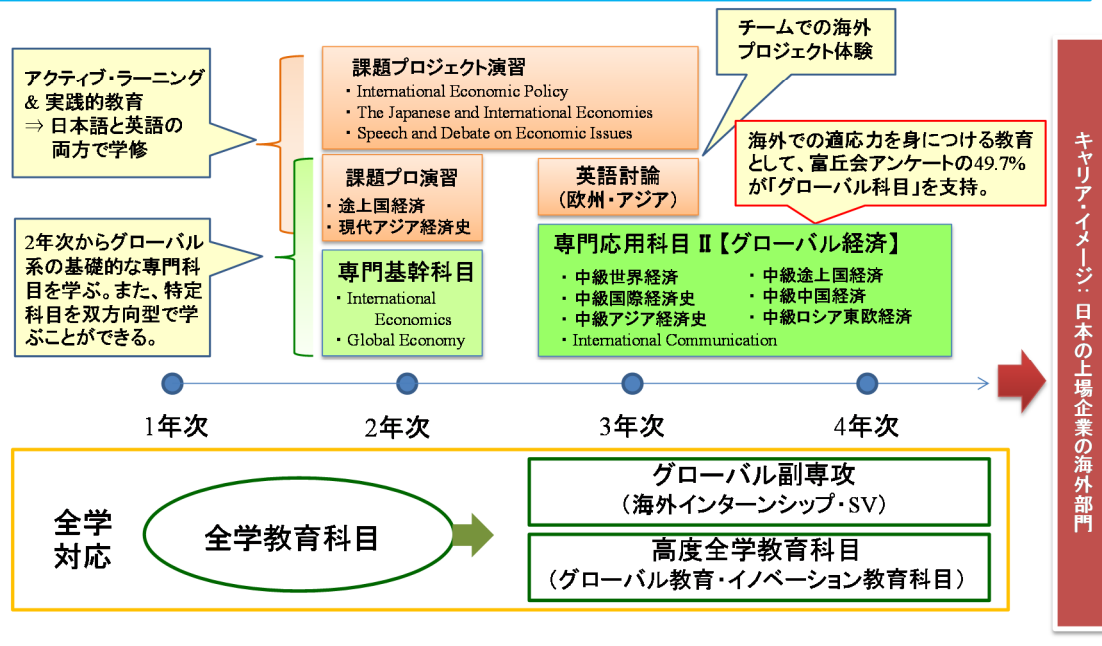
## 経済学部履修モデル1: グローバル・ビジネス人材

社会的ニーズと育成する人材: グローバル・ビジネスの最前線では、多様な地域・社会・文化に適応することが求められる。単に語学ができる人材ではなく、歴史、文化的背景を含む各国の経済事情の知識をもって相手を理解し、コミュニケーションをとる能力と、経済学の専門性を兼ね備えた人材を育成する。



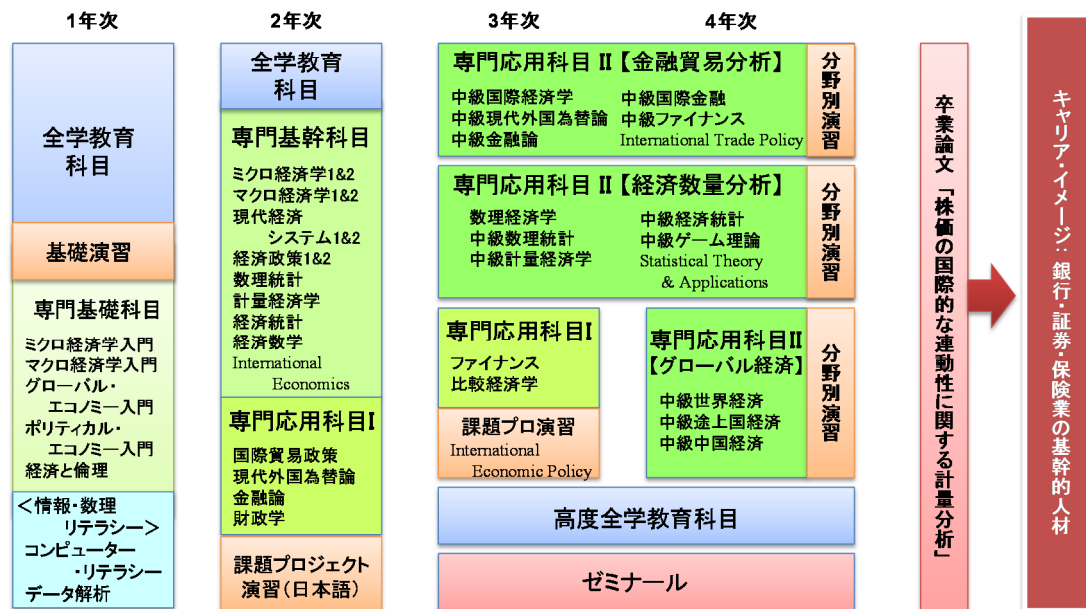
## 【参考①】グローバル・ビジネス人材育成

履修モデルの内容: グローバル科目として「応用科目Ⅱ: グローバル経済」を履修し、経済学の視点からアジアと世界各国の多様な社会・経済・制度の特徴を学修する。「課題プロジェクト演習」(日・英)を履修して、双方向型の実践的な教育を受ける。「英語討論」では、欧州やアジアの大学の学生と特定のテーマに基づきディベートを行うために、討論の準備などグループで協力して課題に取り組むことを学ぶ。



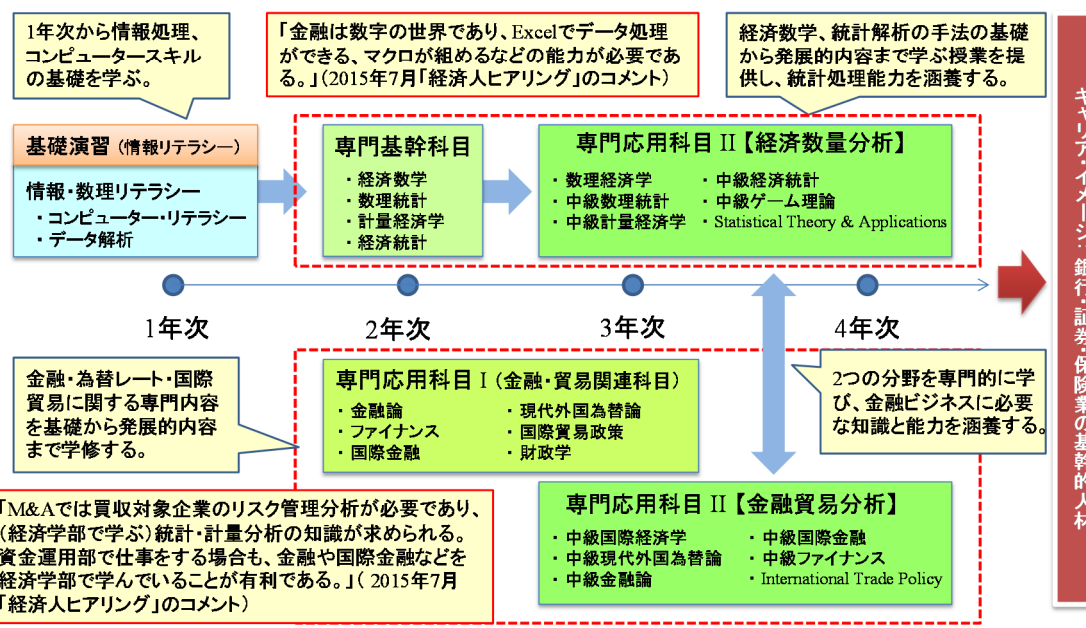
## 経済学部履修モデル2: 経済金融エキスパート人材

社会的ニーズと育成する人材: 金融グローバル化の進展に伴い、経済学の専門知識と、統計・数理分析技能とを兼ね備えた人材が求められている。グローバルな金融ビジネスの諸課題にイノベティブな解決策を与え、それを実行する能力を持った人材を育成する。



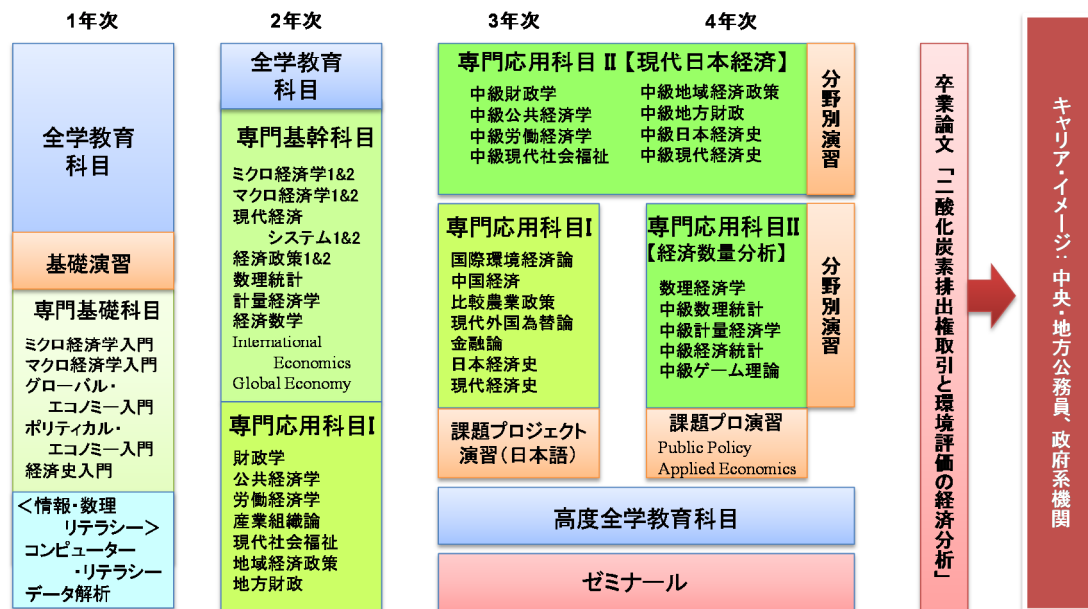
## 【参考②】経済金融エキスパート人材育成

履修モデルの内容: 1年次から情報数理能力の基礎の身につけ、2年次以降は基幹科目として経済数学や数理統計などの専門の内容を基礎から学ぶ。さらに、3年次からは「経済数量分析」(応用科目II)と「金融貿易分析」(応用科目II)の2つの発展的内容を学ぶことで、金融ビジネスに必要な能力を身につける。



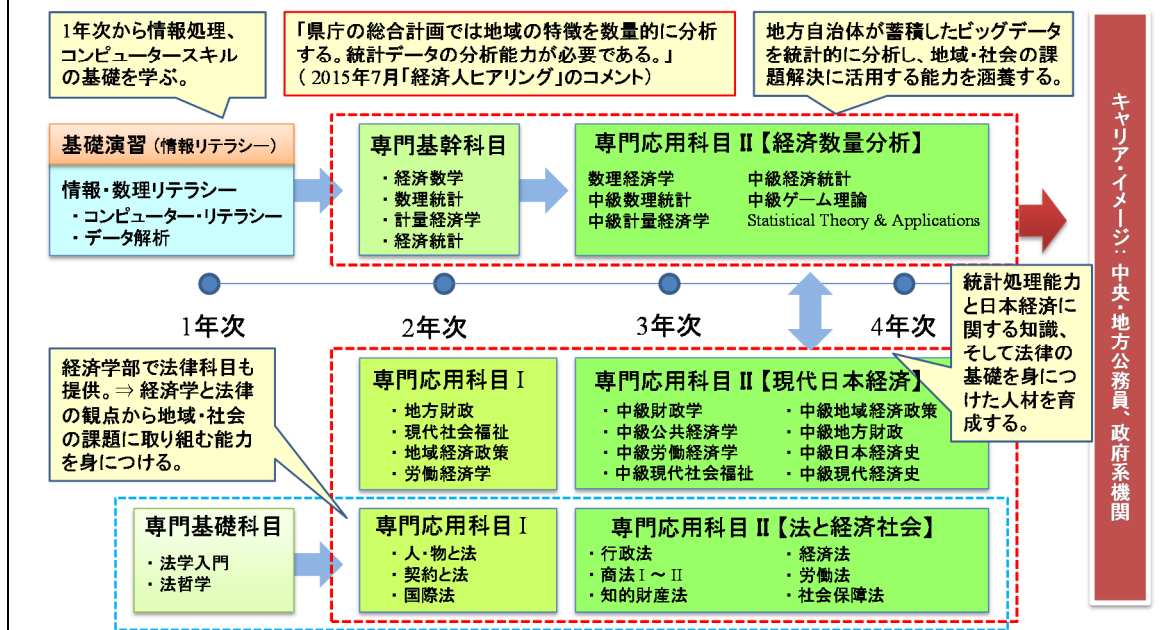
## 経済学部履修モデル3: 地域・社会イノベーション人材

社会的ニーズと育成する人材: 人口減少と低経済成長のもとでは、地域経済活性化や企業の生産性向上などが現代日本経済にとって重要な政策課題である。日本経済の政策的分析手法を修得し、ビッグ・データの利用など統計・数理分析の能力をもって政策課題を客観的に分析し、解決策を提案できる人材を育成する。



## 【参考③】地域・社会イノベーション人材育成

履修モデルの内容: 統計分析の能力を身につけて、地方自治体が蓄積したビッグデータを統計的に分析し、地域・社会の政策的課題に対してイノベティブな解決方法を考案する能力を身につける。「現代日本経済」では日本経済を取り巻く経済・社会課題を学び、「法と経済社会」では法律の基本的な科目を受講することができる。



## 経済学部履修モデル4: 第3年次編入(地域・社会イノベーション人材)

社会的ニーズと育成する人材: すでに他大学での一定の教育を受けた学生、一度他大学を卒業して就職した経験あるいは社会的な活動を経てきた高い問題意識を持つ受験生などにも、本学部で経済学を学ぶ機会を提供する。経済学と法律の観点から日本経済を取り巻く地域・社会問題を分析し、新たな社会メカニズムのデザインによってイノベティブな解決策を提案できる人材を育成する。



### 3. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

#### AP 視点1 高校卒業までに修得しておく知識や能力等の内容・水準 (求める学生像)

##### ◆<求める人材像>

経済学部ではグローバル化する経済社会にとって重要な問題を敏感に捉え、それを明晰に分析しながら、問題解決の方向を冷静に分析する力を育成する。それは、国内や地球の各地で人々がグローバルかつローカルに直面している問題を解決していくための力でもある。経済学部では以下のような人材を歓迎する。

1. 数学、外国語の基礎的学力を備えた人
2. 必要な情報に自分からアクセスするだけでなく、自己の思考によってそれを整理編集し、さらには自ら情報を発信していく習慣を身に付けようとしている人
3. 知的好奇心にあふれるとともに、新しい見方やアイデアを具体化して周りの人に役に立てていこうとしている人
4. 市場システム、経済・社会制度等を学び、新しい経済分析の手法に関心があり、経済・社会の諸問題の解決に挑戦したい人
5. さまざまな地域の制度・歴史・文化に対する深い関心を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会の中で活躍したい人、国際社会が抱える問題の解決に貢献したいという気概を持つ人
6. 法律と経済にまたがる事象に関心があり、経済学と法学の基礎的素養を修得し、法

律の専門知識が生かせる仕事に就きたい人

◆＜一般入試で求める人材像＞

一般入試前期日程では、数理的・論理的的分析力と国際的コミュニケーション能力の2つの能力を兼ね備える人材を求める。一般入試後期日程では、2つの能力のいずれかに特に秀でた人材を求める。

AP 視点 2 これから修得した知識や能力等が、大学入学後にどのように役立つのかの関連性 (入学の心構え等を含む)

◆＜経済システムの理解＞

経済メカニズムの明確な理解、経済社会問題の体系的認識が可能になる。経済学の基礎理論から、財政・金融、ファイナンス、統計・計量経済学、経済史等に至る広範な応用科目の順次的・体系的な理解が可能になる。

◆＜国際経済の理解＞

横浜高等商業学校以来の引き継がれてきた伝統である国際貿易、国際金融、経済開発などの応用科目の理解をもとに、グローバル化する経済の仕組みを認識する。さらに、各地域に固有の歴史、制度、商習慣、環境等の特性に対する深い理解をもとに、グローバル化・多極化の進展と新興国・地域の勃興にともなう現代の経済社会の諸課題の問題解決の方向が探求できる。

◆＜法と経済の理解＞

複雑化する経済現象・企業行動に対し、法学と経済学の複眼的発想をもって取り組めるよう、経済学とともに、基礎的な法律科目（人・物と法、取引と法、憲法等）から、経済に密接に関係する法制度（経済法、商法、知的財産法、労働法等）の科目まで体系的に理解する。

◆＜コミュニケーション能力の強化と実践的国際交流＞

海外協定校への短期留学派遣と「Applied Economics Intensive（海外の大学でのサマースクール）」参加を通じて英語によるコミュニケーション能力を身に付け、実践的国際交流によりグローバル人材としての資質をより高める。

◆＜アクティブ・ラーニング、リーダーシップ、実践力強化＞

専門教育の初級から中級レベルにかけて、日本語と英語で行われる「課題プロジェクト演習」に参加し、ICT機器を用いたアクティブ・ラーニング、課題解決型学修、双方向学修の技法を習得する。日本語および英語でのコミュニケーション能力、リーダーシップ、協働力といった実践力を獲得する。

◆＜グローバル経済社会の諸課題に対するイノベーティブな解決技法の修得＞

高度全学教育科目では、グローバル教育科目を通じてブラジル、インドネシア、ベトナムなど各国事情の理解を図る。また、イノベーション教育科目を通じて、システム・エンジニアリング、知的財産法といった科学技術とその社会実装に関して学び、文理融合型イ

ノバージョン創成の技法を学修する。

◆ <ゼミナールでの卒業研究>

3年次から始まるゼミナールでは、上記で獲得した知識・能力・技法を十分に活用し専門性を深化させ学士力を高める。4年次にゼミナールでの研究の成果として卒業論文を完成させる。

AP視点3 入学者選抜において検査を課す理由とその評価方法・比重（学力の3要素）

◆<前期日程>

数学的思考力と外国語によるコミュニケーション能力の両方を重視する。大学入試センター試験6教科7科目と個別学力検査（数学・外国語）により評価する。

◆<後期日程>

数学的思考力と外国語によるコミュニケーション能力の両方を重視する。大学入試センター試験6教科7科目と個別学力検査（数学と外国語うちいずれか）により評価する。

**III. 経済学部・経営学部 Joint 教育プログラムの開設**

- ◆ 経済学部と経営学部は共同で **Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP)** を新設する。グローバル企業で活躍するビジネス・パーソンを目指す学生に対して、(1) グローバル企業で不可欠な経済学と経営学の両方の専門的知識を修得し、(2) 英語による高度かつ実践的なコミュニケーション能力を身につける教育プログラムを提供する。

- ◆ 本教育プログラムは、以下のような独自の教育体系を用意する。

(1)経済学を主専攻、経営学を副専攻として選択し、経済学に基づくマクロ的な分析能力と統計処理能力、経営学に基づく会計・財務分析能力の2つの専門性を修得させることで、グローバル企業で活躍できるビジネス・パーソンを育成する。

(2)英語による専門科目を必修化する。

- ① 経済学と経営学のそれぞれで英語による専門科目を開講する。英語による授業を通じて専門的な英語での思考能力を身につける。
- ② 英語による課題プロジェクト演習（課題解決型、双方向型学修）を通じて、英語でのコミュニケーション能力、組織的取組みなどの実践的能力を向上させる。

(3)海外学修を必修化し、実践的な国際交流教育を行う。

- ① 海外協定校との交換留学を通じて、現地での大学生活を通じて英語力を飛躍的に向上させる。
- ② 欧州・アジアの海外協定校などを相手として英語討論会を開催し、学生の実践的英語運用能力を強化する。
- ③ 「Applied Economics Intensive (海外の大学でのサマースクール)」など、海外英語

集中キャンプとして短期滞在し、実践的な英語コミュニケーション能力を向上させる。

### 1. ディプロマ・ポリシー

- ◆ グローバル企業で活躍するビジネス・パーソンとなるべく、経済学と経営学の両方を学修し、高い英語運用能力を身に付ける。経済学科本体の教育プログラムとは異なり、経済学を主専攻、経営学を副専攻としてより多くの単位を修得させるとともに、英語開講科目の選択必修、海外学修科目（海外留学、英語討論等）の選択必修を課す。ゼミナールは希望者のみの選択制とする。
- ◆ 以下の卒業要件を満たした者に対して卒業を認定し、「学士（経済学）」を授与する。
  - ・ 経済学部で4年以上在学
  - ・ 全学教育科目 34 単位以上、学部教育科目 98 単位以上、合計 132 単位以上を修得
  - ・ 卒業認定時に通算 GPA が 2.0 以上
  - ・ 主専攻として経済学部の専門応用科目 I および II から合計 32 単位以上を修得
  - ・ 副専攻として経営学部の専門応用科目から 12 単位を修得
  - ・ 海外学修科目として、海外留学もしくは特殊講義（英語実践）から 2 単位を修得
  - ・ Global Business and Economics (GBE) 科目群から 10 単位を修得

### 2. カリキュラム・ポリシー

- ◆ (1)経済学を主専攻、経営学を副専攻として選択する。経済学を学ぶことで、マクロ的な分析能力や統計処理能力を身につける。経営学を学ぶことで会計・財務分析能力など企業の経営戦略に必要な専門知識を修得する。(2)英語による専門科目を必修化することで、専門的な英語での思考能力を身につける。(3)留学（短期もしくは長期）を必修化し、実践的な国際交流教育を実施する。

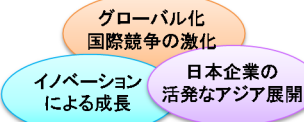
### 3. アドミッション・ポリシー

- ① 経済学と経営学の両方に関心を持ち、数学と外国語によるコミュニケーション能力に極めて秀でた人材を求める。
- ② AO 入試により以下の能力を評価する。(1)国際コミュニケーション能力、(2)グローバルな環境下での協働性やリーダーシップ、(3)数学的思考力、(4)経済と経営への関心度、(5)学修意欲、(6)人間性・倫理観。また、大学入試センター試験の外国語と数学の科目を課すとともに、TOEFL や数学検定などの外部試験成績の提出を出願要件とする。
- ③ 上記の AO 入試以外に、外国学校出身者特別選抜入試の合格者より若干名、そして私費留学生入試 (YGEP-N1) より 2 名程度を選抜する。



# 経済学部・経営学部Joint教育プログラム (Global Business and Economics)

## 【グローバル新時代とアジアシフト】



## 【社会で高まる人材需要】



## 【求められる教育】

グローバル・ビジネスに  
通用する確かな専門性

1. 経済・経営の2つの専門を  
学修
2. 英語でのビジネスに即応す  
るコミュニケーション能力
3. 課題解決型、プロジェクト  
体験型の実践的教育

## 【独自の教育体系】

1. 経済・経営2つの専門性  
(「主専攻」「副専攻」を選択)

2. 英語による専門授業充実化

- a) 経済・経営の英語専門科目
- b) 英語による課題プロジェクト演習

3. 留学(短期・長期)を通じた  
実践的国際交流教育

- a) 協定大学への正規交換留学
- b) 英語討論(欧州・アジア)

## 【養成する人材】

グローバル・ビジネス  
エキスパート人材

1. グローバル企業で不可欠な経済・  
経営の専門的知識
2. 複雑化するグローバル市場の  
動向を読み、イノベティブな  
経営戦略を立案・実行する
3. 英語による高度かつ実践的な  
コミュニケーション能力

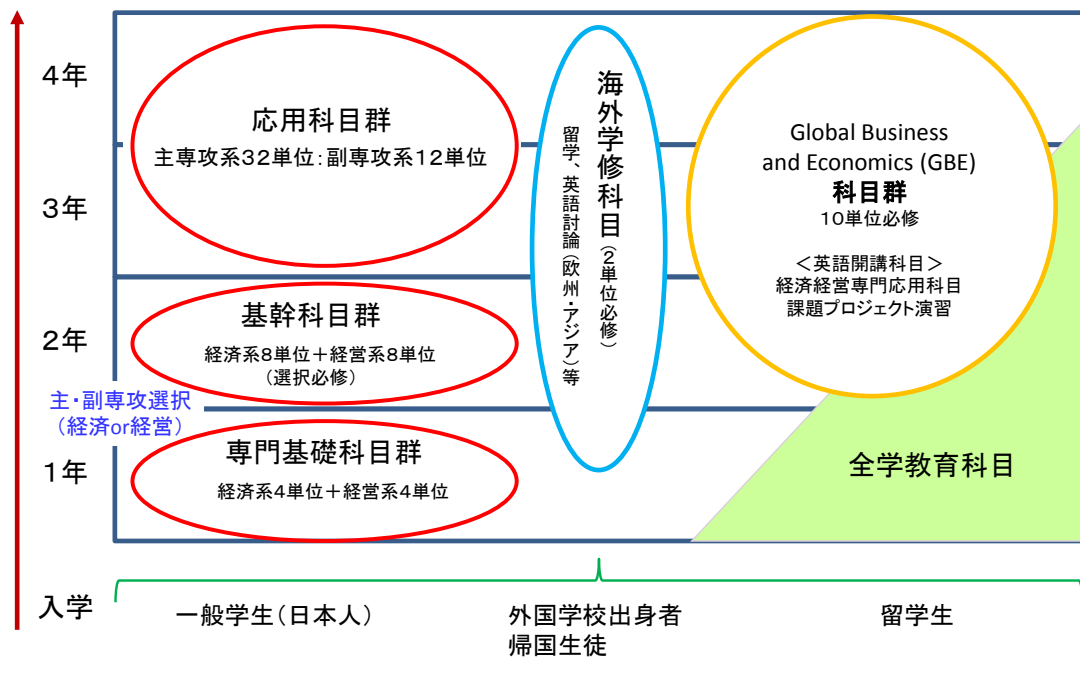
## 本学の強み

国際性(経済、経営の高い留学生比率)  
実践性(BS、就業力で高い評価。  
横浜高商90年のビジネス人脈)

本学としての機能強化(ミッション再定義)  
「グローバルに活躍でき、経済・経営の専門性も  
兼ね備えた人材の育成」

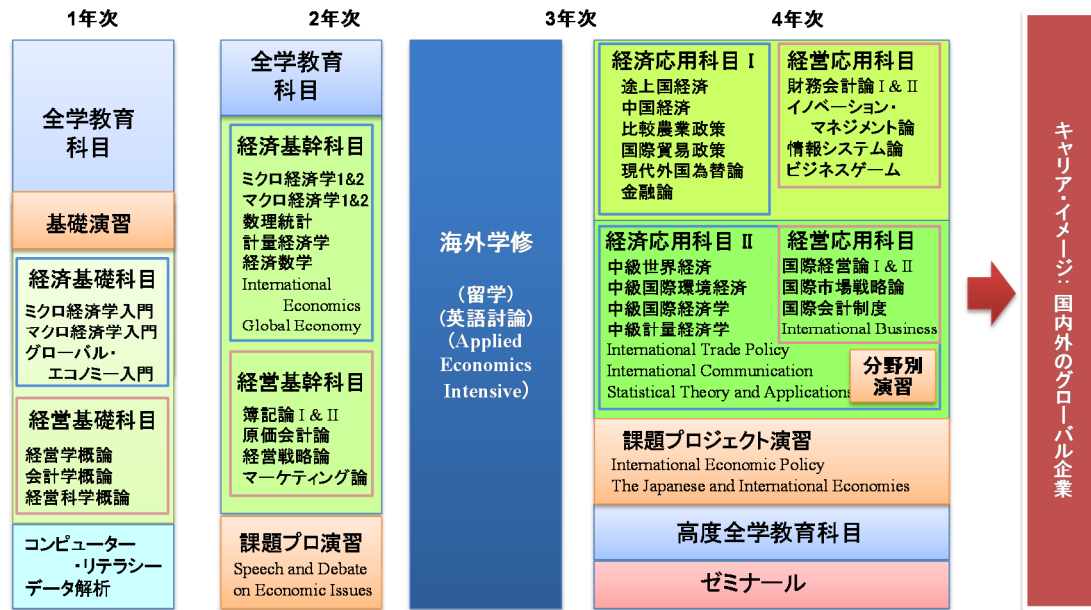
## Global Business and Economics 教育プログラムでの教育展開

卒業要件=132単位



## 経済学部履修モデル5: Global Business and Economics EP (経済学主専攻・経営学副専攻)

**社会的ニーズと育成する人材:** グローバルに事業展開する企業では、経済学と経営学の両方の専門知識を持ち、英語で自由にコミュニケーションをとる能力が求められている。専門的知識(経済学と経営学)と高いレベルの英語運用能力を有し、グローバル企業で活躍できるビジネス・パーソンを育成する。



卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業必要単位数	124単位	1 学年の学期区分	2 学期 6 ターム制
全学教育科目	(34単位)		※「配当年次」欄における学期区分の表記方法
学部教育科目	(90単位)		
卒業には学部教育科目90単位以上をGPA2.0以上で修得したうえ、卒業論文を提出し、論文審査に合格しなければならない。			
(1)全学教育科目 全学教育科目34単位のうち： 基礎科目人文社会系科目から 4単位 基礎科目自然科学系科目から 4単位 高度全学教育科目から 4単位 外国語科目から 10単位 うち英語科目 (8単位) 初修外国語科目から (2単位) 以上の計22単位の修得が必要である。 全学教育科目の残り12単位は自由に選択できる。ただし高度全学教育科目として設定されるグローバル教育科目、イノベーション教育科目、学科が指定する基礎科目の中から3年次あるいは4年次に4単位以上履修する。			第1ターム：4月～5月→① 第2ターム：6月～7月→② 第3ターム：8月～9月→③ 第4ターム：10月～11月→④ 第5ターム：12月～1月→⑤ 第6ターム：2月～3月→⑥
(2)学部教育科目 学部教育科目90単位のうち： 専門基礎科目から 必修 基礎演習 2単位 選択必修 他の3科目 6単位 専門基幹科目から 選択必修10科目 20単位 専門応用科目IIから 選択必修 いずれか一分野から 8単位 選択必修 他の一分野から 4単位 以上の計40単位の修得が必要である。  学部教育科目の残り50単位は、専門基礎科目、専門基幹科目、専門応用科目I・II、英語演習、特殊講義、ゼミナールから選択する。  ゼミナールに参加するためには専門基礎科目の基礎演習2単位と他の3科目6単位以上をゼミナール履修年度の前年度末までに修得している必要がある。		1 学期の授業期間	1 5 週
		1 時限の授業時間	9 0 分
<b>&lt;Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP)&gt;</b>			
卒業必要単位数	132単位		
全学教育科目	(34単位)		
学部教育科目	(98単位)		
卒業には学部教育科目98単位以上をGPA2.0以上で修得したうえ、①主専攻として経済学部の専門応用科目 I およびIIから合計32単位、②副専攻として経営学部の専門応用科目から12単位、③海外学修として海外への留学もしくは特殊講義（英語実践）から2単位、④Global Business and Economics (GBE) 科目群から10単位を修得しなければならない。			
(1)全学教育科目 全学教育科目34単位のうち： 基礎科目人文社会系科目から 4単位 基礎科目自然科学系科目から 4単位 高度全学教育科目から 4単位 外国語科目から 10単位 うち英語科目 (8単位) 初修外国語科目から (2単位) 以上の計22単位の修得が必要である。 全学教育科目の残り12単位は自由に選択できる。ただし高度全学教育科目として設定されるグローバル教育科目、イノベーション教育科目、学科が指定する基礎科目の中から3年次あるいは4年次に4単位以上履修する。			
(2)学部教育科目 学部教育科目98単位のうち： 専門基礎科目から 選択必修 経済系4単位＋経営系4単位 8単位 専門基幹科目から 選択必修 経済系8単位＋経営系8単位 16単位 経済学部専門応用科目IおよびIIから 選択必修（主専攻） 32単位 経営学部専門応用科目から 選択必修（副専攻） 12単位 海外学修科目(*1)から 選択必修 2単位 Global Business and Economics (GBE) 科目群(*2)から 選択必修 10単位 以上の計80単位に加えて、経済学主専攻の場合は基礎演習2単位が必修となる。したがって合計82単位の修得が必要である。			

\*1の海外学修科目は、特殊講義（英語実践）として設定される英語討論（欧州）、英語討論（アジア）、Applied Economics Intensiveからいずれか2単位の修得を必修とする。または、海外協定校等へ留学し、留学中の修得単位を単位認定することによって、海外学修の選択必修2単位を修得したとみなす。

\*2のGBE科目群（上記表中備考欄に「GBE」と記載）は、経済学部と経営学部が英語で開講する専門科目および特殊講義（英語課題プロジェクト演習）を含む。GBE科目群の修得単位が合計して10単位を超える場合、超過した修得単位のうち経済系の専門応用科目IIと経営系の専門応用科目から修得した単位は、専門応用科目の主専攻もしくは副専攻の単位にそれぞれ含めることができる。

学部教育科目の残り16単位は、経済学部および経営学部の学部教育科目から選択する。

## 教育課程等の概要(既設学部)

(経済学部経済システム学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 人文社会系 教養教育科目	心理学A	1・2・3・4前		2		○									兼1
	心理学B	1・2・3・4前後		2		○									兼2
	日本の近代文学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本の言語	1・2・3・4前		2		○									兼1
	中国の古典文学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本の古典文学	1・2・3・4後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	障害と周辺領域 I	1・2・3・4前		2		○									兼1
	脳科学と聴覚認知	1・2・3・4後		2		○									兼2
	日本近現代史	1・2・3・4後		2		○									兼1
	日本前近代史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	ヨーロッパ近現代史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	倫理学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	環境と倫理	1・2・3・4前		2		○									兼1
	鍵盤楽器の名曲	1・2・3・4後		2		○									兼1
	諸民族の音楽と文化	1・2・3・4後		2		○									兼1
	基礎造形B	1・2・3・4前		2		○									兼1
	音楽と自然	1・2・3・4後		2		○									兼1
	民族音楽学入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	色彩論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	水彩画基礎技術	1・2・3・4後		2		○									兼1
	美術の見かた	1・2・3・4前		2		○									兼1
	社会生活と法	1・2・3・4前		2		○									兼1
	現代政治(国際)	1・2・3・4後		2		○									兼1
	現代政治(日本)	1・2・3・4後		2		○									兼1
	社会科学の方法	1・2・3・4後		2		○									兼1
	社会科学の歴史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	社会科学概論A	1・2・3・4前		2		○				1					
	社会科学概論B	1・2・3・4後		2		○				1					
	法と人間	1・2・3・4後		2		○									兼1
	法学概論	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前後		2		○									兼1
	現代と法	1・2・3・4後		2		○									兼1
	在日外国人と日本社会	1・2・3・4前		2		○									兼1
	映画論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	現代芸術論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	文化人類学の考え方	1・2・3・4前		2		○									兼1
	アカデミック・リテラシー -YNU学びの羅針盤-	1前		2		○									兼1
	Elements of Linguistic Knowledge #1	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Elements of Linguistic Knowledge #2	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Arabic language and its Culture	2・3・4前		2		○									兼1
	Business Japanese Language and Culture #2	1・2・3・4前		2				○							兼1
	Business Japanese Language and Culture #3	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Advertisement Art #1	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Advertisement Art #2	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Studio Workshop #1	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Studio Workshop #2	1・2・3・4前		2				○							兼1
	Studio Workshop #3	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Studio Workshop #4	1・2・3・4前		2				○							兼1
	Studio Workshop #5	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Transcultural Understanding through English	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Transcultural Understanding through English #2	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Business Japanese Language and Culture #1	1・2・3・4後		2				○							兼1
小計(53科目)		-	0	106	0		-		1	0	0	0	0	0	兼42

教養教育科目	基礎科目 自然科学系	気象学入門	1・2・3・4後	2	○															兼1	
		生物学から見たヒト	1・2・3・4後	2	○																兼1
		生物地理学入門	1・2・3・4前	2	○																兼1
		線形代数学入門	1・2・3・4前	2	○																兼1
		経済・経営のための基礎数学Ⅰ	1・2・3・4前	2	○																兼1
		経済・経営のための基礎数学Ⅱ	1・2・3・4後	2	○																兼1
		文系のための数学入門	1・2・3・4前	2	○																兼1
		実験で学ぶ物理学A	1・2・3・4前	2	○																兼1
		実験で学ぶ物理学B	1・2・3・4後	2	○																兼1
		環境化学概論	1・2・3・4後	2	○																兼1
		Webページ作成入門	1・2・3・4後	2	○																兼1
		統計学Ⅰ－A	1・2・3・4前	2	○																兼1
		統計学Ⅱ－A	1・2・3・4後	2	○																兼1
		コンピューターで学ぶ統計学A	1・2・3・4前	2			○														兼1
		コンピューターで学ぶ統計学B	1・2・3・4後	2			○														兼1
		地球と惑星の科学	1・2・3・4後	2	○																兼1
		古生物の科学	1・2・3・4前	2	○																兼1
		生物の社会	1・2・3・4前	2	○																兼2
		応用地質学	1・2・3・4後	2	○																兼1
		化学の世界A (物質観としての化学)	1・2・3・4前	2	○																兼1
		化学の世界B (生活の化学)	1・2・3・4前	2	○																兼1
		化学の世界C (環境の化学)	1・2・3・4後	2	○																兼1
		化学の世界D (生命の化学)	1・2・3・4後	2	○																兼1
		名誉教授と学ぶ数理学そぞろ歩き	1・2・3・4前	2	○																兼4
		情報科学	1・2・3・4前後	2	○																兼2
		図形科学	1・2・3・4前後	2	○																兼2
		数理学Ⅰ	1・2・3・4前	2	○																兼1
		数理学Ⅱ	1・2・3・4後	2	○																兼2
		線形代数Ⅰ	1・2・3・4前	2	○																兼1
		線形代数Ⅱ	1・2・3・4後	2	○																兼1
		微分積分Ⅰ	1・2・3・4前	2	○																兼1
		微分積分Ⅱ	1・2・3・4後	2	○																兼1
		体験物理学A	1・2・3・4前	2	○																兼2
		体験物理学B	1・2・3・4後	2	○																兼2
		物理の世界A	1・2・3・4前	2	○																兼1
		物理の世界B	1・2・3・4後	2	○																兼1
		基礎から学ぶ化学	1・2・3・4前後	2	○																兼1
		エネルギー工学序論	1・2・3・4前	2	○																兼2
		コンピュータシステムとコミュニケーション	1・2・3・4後	2	○																兼3
		モバイルプログラミング	2・3・4前	2	○																兼1
		先端機器分析入門	1・2・3・4前	2	○																兼1
		Problem Solving Logics and Framework #1	1・2・3・4後	2	○																兼1
		Modeling with Calculus and Algebra	1・2・3・4後	2	○																兼1
		Applicable Computing	1・2・3・4後	2	○																兼1
		Cyber Studies	1・2・3・4前	2	○																兼1
		ICT Literacy	1・2・3・4後	2			○														兼1
		ICT Project	1・2・3・4前後	2			○														兼1
		Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci	1・2・3・4後	2	○																兼11
		Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	1・2・3・4後	2	○																兼3
		Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci	1・2・3・4前	2	○																兼4
		Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	1・2・3・4前	2	○																兼1
		Problem Solving Logics and Framework #2	1・2・3・4前	2	○																兼1
小計 (52科目)	—	0	104	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼54		
現代科目	教育学 (教育と人間)	1・2・3・4前後	2	○																兼3	
	消費社会と共有	1・2・3・4後	2	○																兼1	
	金融リテラシー入門	1・2・3・4前	2	○																兼1	
	衣生活の科学	1・2・3・4後	2	○																兼1	
	おいしさの科学	1・2・3・4前	2	○																兼1	
	居住環境論	1・2・3・4後	2	○																兼1	
	生涯発達論	1・2・3・4後	2	○																兼1	
職業と教育	1・2・3・4前	2	○																兼1		

教養教育科目	現代科目	人と動物の関係学	1・2・3・4前	2										兼1
		特別活動研究	1・2・3・4前	2		○								兼1
		授業実践研究	1・2・3・4前	2		○								兼1
		木材と人間	1・2・3・4後	2		○								兼1
		学外活動(教育ボランティア)	1・2・3・4前後	2				○						兼1
		学校教育最前線	1・2・3・4前	2			○							兼8
		地域連携と都市再生B(かながわ地域学)	1・2・3・4後	2			○						1	兼2
		現代の物流経営	1・2・3・4後	2			○							兼1
		現代の経営と社会	1・2・3・4前	2			○							兼11
		材料学入門	1・2・3・4前	2			○							兼2
		安全・環境と社会	1・2・3・4前	2			○							兼4
		生態工学	1・2・3・4前	2			○							兼1
		地球環境と情報	1・2・3・4前	2			○							兼1
		科学技術史	1・2・3・4後	2			○							兼1
		建築の環境と防災	1・2・3・4後	2			○							兼1
		地域連携と都市再生A(ヨコハマ地域学)	1・2・3・4前	2			○							兼2
		土木史と技術者倫理	1・2・3・4後	2			○							兼1
		応用気象学	1・2・3・4後	2			○							兼1
		海事技術史	1・2・3・4前	2			○							兼1
		トポロジー	1・2・3・4後	2			○							兼1
		エネルギーと環境	1・2・3・4前	2			○							兼1
		環境リスクとつきあう	1・2・3・4前	2			○							兼6
		情報と社会	1・2・3・4後	2			○							兼1
		情報ネットワークシステム入門	1・2・3・4前	2			○							兼1
		情報セキュリティ入門	1・2・3・4後	2			○							兼1
		プログラミングによる思考と表現の基礎	1・2・3・4後	2			○							兼2
		キャリアデザインA	1・2前	2			○							兼1
		キャリアデザインB	1・2後	2			○							兼1
		ビジネス・コミュニケーション	2・3・4後	2			○							兼1
		キャリア・ケーススタディ	2・3・4後	2			○							兼1
		Wake up! プロジェクト	1前	2			○							兼1
		まなび座Ⅰ・校友会リレートーク	1前	2			○							兼1
		まなび座Ⅱ・リーダーシップ実践	2・3・4前	2			○							兼1
		横浜学—地域の再発見—	1・2・3・4前	2			○							兼1
		地域課題実習Ⅰ	1・2・3・4前	1							○			兼15
		地域課題実習Ⅱ	1・2・3・4後	1							○			兼15
		技術と経営 会社とは	1・2・3・4前	2			○							兼1
		アントレプレナー入門	1・2・3・4前	2						○				兼1
		実践新商品企画	1・2・3・4後	2						○				兼2
		経営者の役割と従業員の役割	1・2・3・4前	2			○							兼1
		研究開発概論	3・4後	2			○							兼1
		国際理解12(日本語をめぐる国際交流史)	1・2・3・4後	2			○							兼1
		国際理解4(日韓比較文化論)	1・2・3・4前	2			○							兼1
		Community Studies	1・2・3・4後	2			○							兼1
		Multicultural Practice	1・2・3・4後	2						○				兼5
		Facilitation and Management with Emotional Intelligence	1・2・3・4後	2			○							兼1
		Team Management and Facilitation	1・2・3・4前	2			○							兼1
		Multicultural Project #1	1・2・3・4後	2						○				兼1
		Multicultural Project #2	1・2・3・4前	2						○				兼1
		Plagiarism and its Regulations	1・2・3・4後	2			○							兼1
		Traditional Perspectives in Japan	1・2・3・4後	2			○							兼1
		Aspects of Japanese Society and Culture	1・2・3・4前後	2			○							兼1
Safety and Crisis Management for Overseas Travel IA	1・2・3・4前後	1			○							兼2		
Safety and Crisis Management for Overseas Travel IIA	1・2・3・4通	1			○							兼2		
Safety and Crisis Management for Overseas Travel IB	1・2・3・4通	2			○							兼2		
Safety and Crisis Management for Overseas Travel IIB	1・2・3・4通	2			○							兼2		
Leading and Teaching Internship #A1	2・3・4後	2							○			兼1		
Leading and Teaching Internship #B1	2・3・4後	2							○			兼1		
Urban Dynamism of Yokohama	1・2・3・4前	2			○							兼1		
危機管理学	1・2・3・4後	2			○							兼1		

現代科目	ICTナレッジマネジメント・コラボレーション	1・2・3・4後	2		○														兼3
	バラグアイ事情	1・2・3・4後	2		○														兼1
	ブラジル事情	1・2・3・4後	2		○														兼1
	ベトナム事情	1・2・3・4後	2		○														兼1
	Business Management with Accounting and Finance	1・2・3・4後	2		○														兼1
小計 (73科目)	—	0	142	0	—				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼66
総合科目	人間生活と社会-環境, 消費, 平和, 世界	1・2・3・4後	2		○														兼3
	音楽における伝統と革新	1・2・3・4前	2		○														兼10
	芸術と社会	1・2・3・4後	2		○														兼13
	こどもの「からだ」	1・2・3・4前	2		○														兼1
	現代フランス文化論	1・2・3・4前	2		○														兼6
	経済学の諸課題 I	1・2・3・4前	2		○					1									
	経済学の諸課題 II	1・2・3・4後	2		○														兼1
	経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	1・2・3・4前	2		○														兼1
	ベンチャーから学ぶマネジメント	1・2・3・4後	2		○														兼1
	アカデミック・トークA	1・2・3・4前	2		○														兼5
	アカデミック・トークB	1・2・3・4後	2		○														兼4
	アカデミック・トークC	1・2・3・4後	2		○														兼1
	アカデミック・トークD	1・2・3・4後	2		○														兼3
	機械工学と社会とのかかわり合い	1・2・3・4前	2		○														兼3
	物質工学と社会	1・2・3・4前	2		○														兼7
	都市と建築	1・2・3・4後	2		○														兼5
	土木工学と社会	1・2・3・4前	2		○														兼5
	海洋工学と社会	1・2・3・4後	2		○														兼11
	数理学概論	1・2・3・4後	2		○														兼16
	物理学概論	1・2・3・4前	2		○														兼8
	環境をめぐる諸問題	1・2・3・4後	2		○														兼10
	システム・エンジニアリング	1・2・3・4前	2		○														兼1
	情報通信技術が培う近未来医療	1・2・3・4後	2		○														兼2
	Collaborative Studies #1	1・2・3・4後	2					○											兼2
	Collaborative Studies #2	1・2・3・4前	2					○											兼2
	Business Problem Solving by Team	1・2・3・4後	2			○													兼1
	Business Planning and Proposal	1・2・3・4前	2			○													兼1
	Multicultural Team-works #1	1・2・3・4後	2					○											兼1
	Multicultural Team-works #2	1・2・3・4前	2					○											兼1
	Instruction and Document Design #A1	1・2・3・4後	2					○											兼4
	Instruction and Document Design #B1	1・2・3・4後	2					○											兼4
	ライフキャリアを考える	1・2・3・4後	2			○													兼1
	2020年東京オリンピック・パラリンピックの在り方	1・2・3・4後	2			○													兼17
小計 (33科目)	—	0	66	0	—				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼42
情報システム科目	コンピュータ・リテラシー	1・2・3・4前	2		○														兼3
	データ解析演習	1・2・3・4後	2		○														兼4
小計 (2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5
基礎演習科目	基礎演習	1前	2				○		1	3									兼5
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—			1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5
外国語科目	英語実習 1W	1・2・3・4前後	1					○											兼4
	英語実習 1S	1・2・3・4前後	1					○											兼6
	英語実習1LR春学期	1・2・3・4前	1					○											兼5
	英語実習1LR秋学期	1後	1					○											兼5
	英語実習1LR (再)	2・3・4前後	1					○											兼1
	英語実習Advanced	1・2・3・4前後	1					○											兼2
	英語演習ARL	2・3・4前後	2				○		1										兼2
	英語演習ADW	2・3・4前後	2				○												兼6
	英語演習Advanced α	2・3・4前後	2				○												兼1
	英語演習Advanced β	2・3・4前後	2				○												兼1
	英語演習EXT	3・4前後	2				○												兼1
	TOEFL iBT スピーキング対策演習	2・3・4前	2				○												兼1
	英語アカデミックプレゼンテーションスキル演習	2・3・4前	2				○												兼1
	海外英語研修A	1・2・3・4後	1					○											兼1
海外英語研修B	1・2・3・4後	2					○											兼1	



教養教育科目	外国語科目	海外英語研修C	1・2・3・4後	3						兼1	
		Academic Presentation Skills A	2・3・4後	2		○					兼1
		Academic Presentation Skills B	2・3・4前	2		○					兼1
		Comprehensive Reading and Summary Writing IA	2・3・4後	2		○					兼1
		Comprehensive Reading and Summary Writing IB	2・3・4前	2		○					兼1
		ドイツ語実習1a	1・2・3・4前	1				○			兼5
		ドイツ語実習1b	1・2・3・4前	1				○			兼5
		ドイツ語実習1 (会話)	1・2・3・4前	1				○			兼3
		ドイツ語実習2a	1・2・3・4後	1				○			兼5
		ドイツ語実習2b	1・2・3・4後	1				○			兼5
		ドイツ語実習2 (会話)	1・2・3・4前	1				○			兼3
		ドイツ語演習	2・3・4前後	2		○					兼2
		ドイツ語演習 (会話)	2・3・4前後	2		○					兼1
		フランス語実習1	1・2・3・4前	1				○			兼6
		フランス語実習1 (会話)	1・2・3・4前	1				○			兼2
		フランス語実習2	1・2・3・4後	1				○			兼6
		フランス語実習2 (会話)	1・2・3・4後	1				○			兼2
		フランス語演習	2・3・4前後	2		○					兼2
		フランス語演習 (会話)	2・3・4前後	2		○					兼1
		中国語実習1a	1・2・3・4前	1				○			兼10
		中国語実習1b	1・2・3・4前	1				○			兼10
		中国語実習2a	1・2・3・4後	1				○			兼10
		中国語実習2b	1・2・3・4後	1				○			兼9
		中国語演習	2・3・4前後	2		○					兼7
		ロシア語実習1a	1・2・3・4前	1				○			兼3
		ロシア語実習1b	1・2・3・4前	1				○			兼3
		ロシア語実習2a	1・2・3・4後	1				○			兼3
		ロシア語実習2b	1・2・3・4後	1				○			兼3
		ロシア語演習	2・3・4前後	2		○					兼1
		朝鮮語実習1	1・2・3・4前	1				○			兼4
		朝鮮語実習2	1・2・3・4後	1				○			兼4
		朝鮮語演習	2・3・4前後	2		○					兼4
		ギリシア語実習	2・3・4前後	1				○			兼1
		ラテン語実習	2・3・4前後	1				○			兼1
		イスパニア語実習1A	1・2・3・4前	1				○			兼1
		イスパニア語実習1B	1・2・3・4前	1				○			兼1
		イスパニア語実習2A	1・2・3・4後	1				○			兼1
		イスパニア語実習2B	1・2・3・4後	1				○			兼1
		イスパニア語演習A	2・3・4前後	2		○					兼1
		イスパニア語演習B	2・3・4前後	2		○					兼1
		日本語中級A	1前	1				○			兼2
		日本語中級B	1前	1				○			兼1
日本語中級C	1前	1				○			兼1		
日本語中級D	1前	1				○			兼1		
日本語中級E	1前	1				○			兼1		
日本語中級F	1前	1				○			兼1		
日本語中級G	1前	2				○			兼1		
日本語上級A	1・2・3・4前	1				○			兼1		
日本語上級B	1・2・3・4後	1				○			兼1		
日本語上級C	1・2・3・4後	1				○			兼1		
日本語上級E	1・2・3・4後	1				○			兼1		
日本語上級H	1・2・3・4前	1				○			兼1		
日本語上級I	1・2・3・4後	1				○			兼1		
日本語上級J	1・2・3・4後	1				○			兼1		
日本語上級K	1・2・3・4前	1				○			兼1		
日本語上級L	1・2・3・4前	1				○			兼1		
日本語上級M	1・2・3・4前	1				○			兼1		
日本語上級N	1・2・3・4後	1				○			兼1		
日本語演習A	1・2・3・4後	2		○					兼1		
日本語演習D	1・2・3・4後	2		○					兼1		

教養教育科目	外国語科目	日本語演習E	1・2・3・4前	2		○								兼1
		日本事情H	1・2・3・4後	2		○								兼1
		小計 (77科目)	—	0	105	0	—		1	0	0	0	0	兼95
		健康スポーツ演習B	1・2・3・4前後	2			○							兼19
		小計 (1科目)	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	兼19
専門基礎科目		制度と経済：ポリティカル・エコノミー入門	1・2・3・4前	2		○			1					兼1
		歴史と経済：経済史入門	1・2・3・4後	2		○								兼1
		世界と経済：グローバル・エコノミー入門	1・2・3・4後	2		○								兼1
		市場と価格：ミクロ経済学入門	1・2・3・4前	2		○			1	1				
		所得と雇用：マクロ経済学入門	1・2・3・4後	2		○			1					
		社会生活と法：法学入門	1・2・3・4後	2		○								兼1
		小計 (6科目)	—	0	12	0	—		2	3	0	0	0	兼3
専門教育科目 基幹科目群		経済原論	2・3・4前後	4		○		1						兼1
		現代経済システム	2・3・4前後	4		○		1						兼1
		ミクロ経済学	2・3・4前後	4		○			1					兼1
		マクロ経済学	2・3・4前後	4		○			1					兼1
		経済史	2・3・4前後	4		○								兼1
		国際コミュニケーション	2・3・4通	4		○		1						隔年
		経済学史	2・3・4通	4		○								兼1
		現代社会福祉	2・3・4後	4		○			1					隔年
		比較経済システム	3・4通	4		○								兼1
		現代社会科学	3・4通	4		○		1						隔年
		数理経済学	3・4前	4		○		1						隔年
		経済統計	2・3・4後	4		○		1						兼1
		数理統計	2・3・4前	4		○								兼1
		計量経済学	2・3・4後	4		○		1						兼1
		プログラミングと経済分析	2・3・4	4		○								兼1
		社会思想史	2・3・4	4		○								兼1
		ゲーム理論	2・3・4後	4		○				1				
		地方財政	2・3・4前	4		○				1				
		金融論	3・4後	4		○		1						
		ファイナンス	3・4前	4		○								兼1
		労働経済学	3・4前	4		○		1						
		経済政策	2・3・4前	4		○				1				
		日本経済史	2・3・4後	4		○				1				
		財政学	3・4前	4		○								兼1
		公共経済学	3・4通	4		○								兼1
		比較農業政策	2・3・4前	4		○								兼1
		現代経済史	2・3・4通	4		○								兼1
		言語コミュニケーションとアイデンティティ	2・3・4後	4		○								兼1
		地域経済政策	2・3・4通	4		○								兼1
		国際環境経済論	2・3・4通	4		○								隔年
		国際金融	2・3・4通	4		○								兼1
		世界経済論	2・3・4	4		○								兼1
		途上国経済	2・3・4通	4		○								兼1
		国際経済史	2・3・4通	4		○								兼1
		アジア経済史	2・3・4前	4		○								兼1
		国際経済学	3・4前	4		○								兼1
		数量ファイナンス	3・4後	4		○								兼1
		産業組織論	3・4	4		○								兼1
		経済開発論	3・4	4		○								兼1
		国際関係論	3・4	4		○								兼1
	中国経済	3・4通	4		○								兼1	
	ロシア東欧経済	3・4通	4		○								兼1	
	国際貿易政策	3・4通	4		○								兼1	
	現代外国為替論	3・4前	4		○								兼1	
	憲法	2・3・4後	2		○								兼1	
	行政法	3・4前	2		○								兼1	
	民法I	2・3・4前	2		○								兼1	
	民法II	2・3・4前	2		○								兼1	
	民法III	2・3・4後	2		○								兼1	
	民法IV	3・4前	2		○								兼1	
	商法I	3・4前	2		○								兼1	

専門教育科目 (基幹科目群)	商法Ⅱ	3・4後	2		○										兼1
	商法Ⅲ	3・4後	2		○										兼1
	刑法	2・3・4後	2		○										兼1
	裁判法	3・4	2		○										兼1
	国際法	2・3・4	2		○										兼1
	政治学原論	2・3・4前	2		○										兼1
	基礎法学	3・4	2		○										兼1
	公法特別講義・憲法	2・3・4前	2		○										兼1
	公法特別講義・行政法	2・3・4後	2		○										兼1
	民事法特別講義・担保物件法	2・3・4前	2		○										兼1
	民事法特別講義・債権各論	2・3・4前	2		○										兼1
	民事法特別講義・企業取引法	3・4前	2		○										兼1
	刑事法特別講義・刑法	2・3・4後	2		○										兼1
	法学特別講義・経済法概論	3・4前	2		○										兼1
	法学特別講義・知的財産権法概論	3・4	2		○										兼1
	政治学特別講義	2・3・4後	2		○										兼1
基本租税法研究	3・4	2		○										兼1	
基本社会保障法研究	3・4	2		○										兼1	
小計 (69科目)	—	0	226	0	—		9	7	0	0	0	0	0	兼57	—
専門教育科目 (特殊講義)	哲学概論	2・3・4通	4		○										兼1
	地域イノベーション政策	2・3・4後	2		○										兼1
	資本市場の役割と証券投資	2・3・4後	2		○			1							
	社会における実践体験—富丘会メッセージ—	2・3・4前	2		○			1							
	インターンシップ	2・3・4後	2			○		1							
	キャリア形成論	2・3・4前	2		○										兼1
	コンテンツ産業と法制度	3・4後	2		○										兼1
	エコノミストが見る日本経済	2・3・4前	2		○										兼1
	Innovation and the Culture of Inventiveness	1・2・3・4前	2		○										兼1
	Innovation and Consumption: Economic Perspectives	1・2・3・4前	2		○										兼1
	グローバルビジネス実践論	2・3・4後	2		○										兼1
	課題プロジェクト演習 途上国経済	2・3前	2		○										兼1
	課題プロジェクト演習 現代アジア経済史	2・3後	2		○										兼1
	課題プロジェクト演習 地域経済	2・3後	2		○										兼2
	課題プロジェクト演習 英語による日本経済	2・3前	2		○										兼1
	課題プロジェクト演習 英語による経済事情	2・3後	2		○										兼1
	課題プロジェクト演習 英語による経済学	2・3前	2		○										兼1
	課題プロジェクト演習 初歩からの英語によるスピーチとディベート	2・3後	2		○					1					
課題プロジェクト演習 英語による公共政策	2・3後	2		○										兼1	
課題プロジェクト演習 ファイナンス	2・3後	2		○				1							
英語討論 (アジア)	1・2・3・4後	2			○									兼1	
英語討論 (欧州)	1・2・3・4後	2			○									兼1	
Applied Economics Intensive	1・2・3・4後	2		○										兼1	
小計 (23科目)	—	0	48	0	—		2	1	1	0	0	0	0	兼17	—
ゼミナール	ゼミナール	3・4通	4			○		12	8						
	法律特別ゼミナール (※)	3・4前	2			○									兼2
	法律特別ゼミナール (※)	3・4後	2			○									兼2
小計 (3科目)	3・4後	4	4	0	—		12	8	0	0	0	0	0	兼3	—
合計 (393科目)		—	4	821	0	—	12	8	1	0	0	0	0	兼408	—
学位又は称号	学士 (経済学)		学位又は学科の分野			経済学関係									

## 教育課程等の概要(既設学部)

(経済学部国際経済学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 人文社会系 教養教育科目	心理学A	1・2・3・4前		2		○									兼1
	心理学B	1・2・3・4前後		2		○									兼2
	日本の近代文学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本の言語	1・2・3・4前		2		○									兼1
	中国の古典文学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本の古典文学	1・2・3・4後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	障害と周辺領域 I	1・2・3・4前		2		○									兼1
	脳科学と聴覚認知	1・2・3・4後		2		○									兼2
	日本近現代史	1・2・3・4後		2		○									兼1
	日本前近代史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	ヨーロッパ近現代史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	倫理学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	環境と倫理	1・2・3・4前		2		○									兼1
	鍵盤楽器の名曲	1・2・3・4後		2		○									兼1
	諸民族の音楽と文化	1・2・3・4後		2		○									兼1
	基礎造形B	1・2・3・4前		2		○									兼1
	音楽と自然	1・2・3・4後		2		○									兼1
	民族音楽学入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	色彩論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	水彩画基礎技術	1・2・3・4後		2		○									兼1
	美術の見かた	1・2・3・4前		2		○									兼1
	社会生活と法	1・2・3・4前		2		○									兼1
	現代政治(国際)	1・2・3・4後		2		○									兼1
	現代政治(日本)	1・2・3・4後		2		○									兼1
	社会科学の方法	1・2・3・4後		2		○									兼1
	社会科学の歴史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	社会科学概論A	1・2・3・4前		2		○									兼1
	社会科学概論B	1・2・3・4後		2		○									兼1
	法と人間	1・2・3・4後		2		○									兼1
	法学概論	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前後		2		○									兼1
	現代と法	1・2・3・4後		2		○									兼1
	在日外国人と日本社会	1・2・3・4前		2		○									兼1
	映画論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	現代芸術論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	文化人類学の考え方	1・2・3・4前		2		○									兼1
	アカデミック・リテラシー -YNU学びの羅針盤-	1前		2		○									兼1
	Elements of Linguistic Knowledge #1	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Elements of Linguistic Knowledge #2	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Arabic language and its Culture	2・3・4前		2		○									兼1
	Business Japanese Language and Culture #2	1・2・3・4前		2				○							兼1
	Business Japanese Language and Culture #3	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Advertisement Art #1	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Advertisement Art #2	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Studio Workshop #1	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Studio Workshop #2	1・2・3・4前		2				○							兼1
	Studio Workshop #3	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Studio Workshop #4	1・2・3・4前		2				○							兼1
	Studio Workshop #5	1・2・3・4後		2				○							兼1
	Transcultural Understanding through English	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Transcultural Understanding through English #2	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Business Japanese Language and Culture #1	1・2・3・4後		2				○							兼1
小計(53科目)		—	0	106	0	—			0	0	0	0	0	0	兼43

教養教育科目	基礎科目 自然科学系	気象学入門	1・2・3・4後	2	○											兼1	
		生物学から見たヒト	1・2・3・4後	2	○												兼1
		生物地理学入門	1・2・3・4前	2	○												兼1
		線形代数学入門	1・2・3・4前	2	○												兼1
		経済・経営のための基礎数学Ⅰ	1・2・3・4前	2	○												兼1
		経済・経営のための基礎数学Ⅱ	1・2・3・4後	2	○												兼1
		文系のための数学入門	1・2・3・4前	2	○												兼1
		実験で学ぶ物理学A	1・2・3・4前	2	○												兼1
		実験で学ぶ物理学B	1・2・3・4後	2	○												兼1
		環境化学概論	1・2・3・4後	2	○												兼1
		Webページ作成入門	1・2・3・4後	2	○												兼1
		統計学Ⅰ－A	1・2・3・4前	2	○												兼1
		統計学Ⅱ－A	1・2・3・4後	2	○												兼1
		コンピューターで学ぶ統計学A	1・2・3・4前	2			○										兼1
		コンピューターで学ぶ統計学B	1・2・3・4後	2			○										兼1
		地球と惑星の科学	1・2・3・4後	2	○												兼1
		古生物の科学	1・2・3・4前	2	○												兼1
		生物の社会	1・2・3・4前	2	○												兼2
		応用地質学	1・2・3・4後	2	○												兼1
		化学の世界A (物質観としての化学)	1・2・3・4前	2	○												兼1
		化学の世界B (生活の化学)	1・2・3・4前	2	○												兼1
		化学の世界C (環境の化学)	1・2・3・4後	2	○												兼1
		化学の世界D (生命の化学)	1・2・3・4後	2	○												兼1
		名誉教授と学ぶ数理学そぞろ歩き	1・2・3・4前	2	○												兼4
		情報科学	1・2・3・4前後	2	○												兼2
		図形科学	1・2・3・4前後	2	○												兼2
		数理学Ⅰ	1・2・3・4前	2	○												兼1
		数理学Ⅱ	1・2・3・4後	2	○												兼2
		線形代数Ⅰ	1・2・3・4前	2	○												兼1
		線形代数Ⅱ	1・2・3・4後	2	○												兼1
		微分積分Ⅰ	1・2・3・4前	2	○												兼1
		微分積分Ⅱ	1・2・3・4後	2	○												兼1
		体験物理学A	1・2・3・4前	2	○												兼2
		体験物理学B	1・2・3・4後	2	○												兼2
		物理の世界A	1・2・3・4前	2	○												兼1
		物理の世界B	1・2・3・4後	2	○												兼1
		基礎から学ぶ化学	1・2・3・4前後	2	○												兼1
		エネルギー工学序論	1・2・3・4前	2	○												兼2
		コンピュータシステムとコミュニケーション	1・2・3・4後	2	○												兼3
		モバイルプログラミング	2・3・4前	2	○												兼1
		先端機器分析入門	1・2・3・4前	2	○												兼1
		Problem Solving Logics and Framework #1	1・2・3・4後	2	○												兼1
		Modeling with Calculus and Algebra	1・2・3・4後	2	○												兼1
		Applicable Computing	1・2・3・4後	2	○												兼1
		Cyber Studies	1・2・3・4前	2	○												兼1
		ICT Literacy	1・2・3・4後	2			○										兼1
		ICT Project	1・2・3・4前後	2			○										兼1
		Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci	1・2・3・4後	2	○												兼11
		Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	1・2・3・4後	2	○												兼3
		Prospects of Arch. Instr. Ocean Eng & Ecosystem Sci	1・2・3・4前	2	○												兼4
		Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	1・2・3・4前	2	○												兼1
		Problem Solving Logics and Framework #2	1・2・3・4前	2	○												兼1
		小計 (52科目)	—	0	104	0	—			0	0	0	0	0	0	0	兼54
		現代科目	教育学 (教育と人間)	1・2・3・4前後	2	○											兼3
			消費社会と共有	1・2・3・4後	2	○											兼1
			金融リテラシー入門	1・2・3・4前	2	○											兼1
			衣生活の科学	1・2・3・4後	2	○											兼1
			おいしさの科学	1・2・3・4前	2	○											兼1
			居住環境論	1・2・3・4後	2	○											兼1
			生涯発達論	1・2・3・4後	2	○											兼1
		職業と教育	1・2・3・4前	2	○											兼1	



現代科目	ICTナレッジマネジメント・コラボレーション	1・2・3・4後	2	○								兼3
	バラグアイ事情	1・2・3・4後	2	○								兼1
	ブラジル事情	1・2・3・4後	2	○								兼1
	ベトナム事情	1・2・3・4後	2	○								兼1
	Business Management with Accounting and Finance	1・2・3・4後	2	○								兼1
小計 (73科目)	—	0	142	0	—	0	0	0	0	0	0	兼67
総合科目	人間生活と社会-環境, 消費, 平和, 世界	1・2・3・4後	2	○								兼3
	音楽における伝統と革新	1・2・3・4前	2	○								兼10
	芸術と社会	1・2・3・4後	2	○								兼13
	こどもの「からだ」	1・2・3・4前	2	○								兼1
	現代フランス文化論	1・2・3・4前	2	○								兼6
	経済学の諸課題 I	1・2・3・4前	2	○								兼1
	経済学の諸課題 II	1・2・3・4後	2	○					1			
	経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	1・2・3・4前	2	○								兼1
	ベンチャーから学ぶマネジメント	1・2・3・4後	2	○								兼1
	アカデミック・トークA	1・2・3・4前	2	○								兼5
	アカデミック・トークB	1・2・3・4後	2	○								兼4
	アカデミック・トークC	1・2・3・4後	2	○								兼1
	アカデミック・トークD	1・2・3・4後	2	○								兼3
	機械工学と社会とのかかわり合い	1・2・3・4前	2	○								兼3
	物質工学と社会	1・2・3・4前	2	○								兼7
	都市と建築	1・2・3・4後	2	○								兼5
	土木工学と社会	1・2・3・4前	2	○								兼5
	海洋工学と社会	1・2・3・4後	2	○								兼11
	数理学概論	1・2・3・4後	2	○								兼16
	物理学概論	1・2・3・4前	2	○								兼8
	環境をめぐる諸問題	1・2・3・4後	2	○								兼10
	システム・エンジニアリング	1・2・3・4前	2	○								兼1
	情報通信技術が培う近未来医療	1・2・3・4後	2	○								兼2
	Collaborative Studies #1	1・2・3・4後	2			○						兼2
	Collaborative Studies #2	1・2・3・4前	2			○						兼2
	Business Problem Solving by Team	1・2・3・4後	2			○						兼1
	Business Planning and Proposal	1・2・3・4前	2			○						兼1
	Multicultural Team-works #1	1・2・3・4後	2				○					兼1
	Multicultural Team-works #2	1・2・3・4前	2				○					兼1
	Instruction and Document Design #A1	1・2・3・4後	2				○					兼4
	Instruction and Document Design #B1	1・2・3・4後	2				○					兼4
	ライフキャリアを考える	1・2・3・4後	2			○						兼1
	2020年東京オリンピック・パラリンピックの在り方	1・2・3・4後	2			○						兼17
小計 (33科目)	—	0	66	0	—	0	1	0	0	0	0	兼42
情報テクノロジー科目	コンピュータ・リテラシー	1・2・3・4前	2	○								兼3
	データ解析演習	1・2・3・4後	2	○								兼4
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	0	0	0	0	0	兼5
基礎演習科目	基礎演習	1前	2			○			3	1		兼5
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—	3	1	0	0	0	兼5
外国語科目	英語実習 1W	1・2・3・4前後	1									兼4
	英語実習 1S	1・2・3・4前後	1									兼6
	英語実習1LR春学期	1・2・3・4前	1									兼5
	英語実習1LR秋学期	1後	1									兼5
	英語実習1LR (再)	2・3・4前後	1									兼1
	英語実習Advanced	1・2・3・4前後	1									兼2
	英語演習ARL	2・3・4前後	2				○					兼3
	英語演習ADW	2・3・4前後	2				○					兼6
	英語演習Advanced α	2・3・4前後	2				○					兼1
	英語演習Advanced β	2・3・4前後	2				○			1		
	英語演習EXT	3・4前後	2				○					兼1
	TOEFL iBT スピーキング対策演習	2・3・4前	2				○					兼1
	英語アカデミックプレゼンテーションスキル演習	2・3・4前	2				○					兼1
	海外英語研修A	1・2・3・4後	1								○	兼1
	海外英語研修B	1・2・3・4後	2								○	兼1

教養教育科目 外国語科目	海外英語研修C	1・2・3・4後	3							兼1
	Academic Presentation Skills A	2・3・4後	2		○					兼1
	Academic Presentation Skills B	2・3・4前	2		○					兼1
	Comprehensive Reading and Summary Writing IA	2・3・4後	2		○					兼1
	Comprehensive Reading and Summary Writing IB	2・3・4前	2		○					兼1
	ドイツ語実習1a	1・2・3・4前	1				○			兼5
	ドイツ語実習1b	1・2・3・4前	1				○			兼5
	ドイツ語実習1 (会話)	1・2・3・4前	1				○			兼3
	ドイツ語実習2a	1・2・3・4後	1				○			兼5
	ドイツ語実習2b	1・2・3・4後	1				○			兼5
	ドイツ語実習2 (会話)	1・2・3・4前	1				○			兼3
	ドイツ語演習	2・3・4前後	2		○					兼2
	ドイツ語演習 (会話)	2・3・4前後	2		○					兼1
	フランス語実習1	1・2・3・4前	1				○			兼6
	フランス語実習1 (会話)	1・2・3・4前	1				○			兼2
	フランス語実習2	1・2・3・4後	1				○			兼6
	フランス語実習2 (会話)	1・2・3・4後	1				○			兼2
	フランス語演習	2・3・4前後	2		○					兼2
	フランス語演習 (会話)	2・3・4前後	2		○					兼1
	中国語実習1a	1・2・3・4前	1				○			兼10
	中国語実習1b	1・2・3・4前	1				○			兼10
	中国語実習2a	1・2・3・4後	1				○			兼10
	中国語実習2b	1・2・3・4後	1				○			兼9
	中国語演習	2・3・4前後	2		○					兼7
	ロシア語実習1a	1・2・3・4前	1				○			兼3
	ロシア語実習1b	1・2・3・4前	1				○			兼3
	ロシア語実習2a	1・2・3・4後	1				○			兼3
	ロシア語実習2b	1・2・3・4後	1				○			兼3
	ロシア語演習	2・3・4前後	2		○					兼1
	朝鮮語実習1	1・2・3・4前	1				○			兼4
	朝鮮語実習2	1・2・3・4後	1				○			兼4
	朝鮮語演習	2・3・4前後	2		○					兼4
	ギリシア語実習	2・3・4前後	1				○			兼1
	ラテン語実習	2・3・4前後	1				○			兼1
	イスパニア語実習1A	1・2・3・4前	1				○			兼1
	イスパニア語実習1B	1・2・3・4前	1				○			兼1
	イスパニア語実習2A	1・2・3・4後	1				○			兼1
	イスパニア語実習2B	1・2・3・4後	1				○			兼1
	イスパニア語演習A	2・3・4前後	2		○					兼1
	イスパニア語演習B	2・3・4前後	2		○					兼1
	日本語中級A	1前	1				○			兼2
	日本語中級B	1前	1				○			兼1
	日本語中級C	1前	1				○			兼1
	日本語中級D	1前	1				○			兼1
	日本語中級E	1前	1				○			兼1
日本語中級F	1前	1				○			兼1	
日本語中級G	1前	2				○			兼1	
日本語上級A	1・2・3・4前	1				○			兼1	
日本語上級B	1・2・3・4後	1				○			兼1	
日本語上級C	1・2・3・4後	1				○			兼1	
日本語上級E	1・2・3・4後	1				○			兼1	
日本語上級H	1・2・3・4前	1				○			兼1	
日本語上級I	1・2・3・4後	1				○			兼1	
日本語上級J	1・2・3・4後	1				○			兼1	
日本語上級K	1・2・3・4前	1				○			兼1	
日本語上級L	1・2・3・4前	1				○			兼1	
日本語上級M	1・2・3・4前	1				○			兼1	
日本語上級N	1・2・3・4後	1				○			兼1	
日本語演習A	1・2・3・4後	2		○					兼1	
日本語演習D	1・2・3・4後	2		○					兼1	



教養教育科目	外国語科目	日本語演習E	1・2・3・4前	2			○									兼1
		日本事情H	1・2・3・4後	2			○									兼1
		小計 (77科目)	—	0	105	0		—		1	0	0	0	0	0	兼95
		健康スポーツ演習B	1・2・3・4前後	2				○								兼19
		小計 (1科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	0	兼19
専門基礎科目		制度と経済：ポリティカル・エコノミー入門	1・2・3・4前	2			○									兼1
		歴史と経済：経済史入門	1・2・3・4後	2			○		1							
		世界と経済：グローバル・エコノミー入門	1・2・3・4後	2			○			1						
		市場と価格：ミクロ経済学入門	1・2・3・4前	2			○									兼1
		所得と雇用：マクロ経済学入門	1・2・3・4後	2			○									兼1
		社会生活と法：法学入門	1・2・3・4後	2			○									兼1
		小計 (6科目)	—	0	12	0		—		1	1	0	0	0	0	兼4
専門教育科目 基幹科目群		経済原論	2・3・4前後	4			○									兼2
		現代経済システム	2・3・4前後	4			○									兼2
		ミクロ経済学	2・3・4前後	4			○									兼2
		マクロ経済学	2・3・4前後	4			○									兼2
		経済史	2・3・4前後	4			○									兼1
		国際コミュニケーション	2・3・4通	4			○									兼1 隔年
		経済学史	2・3・4通	4			○									兼1
		現代社会福祉	2・3・4後	4			○									兼1 隔年
		比較経済システム	3・4通	4			○									兼1
		現代社会科学	3・4通	4			○									兼1 隔年
		数理経済学	3・4前	4			○									兼1 隔年
		経済統計	2・3・4後	4			○									兼1
		数理統計	2・3・4前	4			○									兼1
		計量経済学	2・3・4後	4			○									兼1
		プログラミングと経済分析	2・3・4	4			○									兼1
		社会思想史	2・3・4	4			○									兼1
		ゲーム理論	2・3・4後	4			○									兼1
		地方財政	2・3・4前	4			○									兼1
		金融論	3・4後	4			○									兼1
		ファイナンス	3・4前	4			○									兼1
		労働経済学	3・4前	4			○									兼1
		経済政策	2・3・4前	4			○									兼1
		日本経済史	2・3・4後	4			○									兼1
		財政学	3・4前	4			○				1					
		公共経済学	3・4通	4			○				1					
		比較農業政策	2・3・4前	4			○									兼1
		現代経済史	2・3・4通	4			○									兼1
		言語コミュニケーションとアイデンティティ	2・3・4後	4			○			1						
		地域経済政策	2・3・4通	4			○				1					隔年
		国際環境経済論	2・3・4通	4			○			1						
		国際金融	2・3・4通	4			○			1						
		世界経済論	2・3・4	4			○									兼1
		途上国経済	2・3・4通	4			○									兼1
		国際経済史	2・3・4通	4			○									兼1
		アジア経済史	2・3・4前	4			○				1					
		国際経済学	3・4前	4			○									兼1
		数量ファイナンス	3・4後	4			○									兼1
		産業組織論	3・4	4			○									兼1
		経済開発論	3・4	4			○									兼1
		国際関係論	3・4	4			○									兼1
	中国経済	3・4通	4			○									兼1	
	ロシア東欧経済	3・4通	4			○			1							
	国際貿易政策	3・4通	4			○			1							
	現代外国為替論	3・4前	4			○			1							
	憲法	2・3・4後	2			○									兼1	
	行政法	3・4前	2			○									兼1	
	民法I	2・3・4前	2			○									兼1	
	民法II	2・3・4前	2			○									兼1	
	民法III	2・3・4後	2			○									兼1	
	民法IV	3・4前	2			○									兼1	
	商法I	3・4前	2			○									兼1	

専門教育科目 (基幹科目群)	商法Ⅱ	3・4後	2		○									兼1	
	商法Ⅲ	3・4後	2		○									兼1	
	刑法	2・3・4後	2		○									兼1	
	裁判法	3・4	2		○									兼1	
	国際法	2・3・4	2		○									兼1	
	政治学原論	2・3・4前	2		○									兼1	
	基礎法学	3・4	2		○									兼1	
	公法特別講義・憲法	2・3・4前	2		○									兼1	
	公法特別講義・行政法	2・3・4後	2		○									兼1	
	民事法特別講義・担保物件法	2・3・4前	2		○									兼1	
	民事法特別講義・債権各論	2・3・4前	2		○									兼1	
	民事法特別講義・企業取引法	3・4前	2		○									兼1	
	刑事法特別講義・刑法	2・3・4後	2		○									兼1	
	法学特別講義・経済法概論	3・4前	2		○									兼1	
	法学特別講義・知的財産権法概論	3・4	2		○									兼1	
	政治学特別講義	2・3・4後	2		○									兼1	
	基本租税法研究	3・4	2		○									兼1	
	基本社会保障法研究	3・4	2		○									兼1	
	小計 (69科目)	—	0	226	0	—		6	4	0	0	0		兼63	—
	専門教育科目 (特殊講義)	哲学概論	2・3・4通	4		○									兼1
地域イノベーション政策		2・3・4後	2		○									兼1	
資本市場の役割と証券投資		2・3・4後	2		○									兼1	
社会における実践体験—富丘会メッセージ—		2・3・4前	2		○									兼1	
インターンシップ		2・3・4後	2				○							兼1	
キャリア形成論		2・3・4前	2		○									兼1	
コンテンツ産業と法制度		3・4後	2		○									兼1	
エコノミストが見る日本経済		2・3・4前	2		○									兼1	
Innovation and the Culture of Inventiveness		1・2・3・4前	2		○									兼1	
Innovation and Consumption: Economic Perspectives		1・2・3・4前	2		○									兼1	
グローバルビジネス実践論		2・3・4後	2		○			1							
課題プロジェクト演習 途上国経済		2・3前	2		○									兼1	
課題プロジェクト演習 現代アジア経済史		2・3後	2		○					1					
課題プロジェクト演習 地域経済		2・3後	2		○									兼2	
課題プロジェクト演習 英語による日本経済		2・3前	2		○			1							
課題プロジェクト演習 英語による経済事情		2・3後	2		○									兼1	
課題プロジェクト演習 英語による経済学		2・3前	2		○									兼1	
課題プロジェクト演習 初歩からの英語によるスピーチとディベート		2・3後	2		○									兼1	
課題プロジェクト演習 英語による公共政策		2・3後	2		○									兼1	
課題プロジェクト演習 ファイナンス		2・3後	2		○									兼1	
英語討論 (アジア)	1・2・3・4後	2				○	1								
英語討論 (欧州)	1・2・3・4後	2				○	1								
Applied Economics Intensive	1・2・3・4後	2		○			1								
小計 (23科目)	—	0	48	0	—		3	1	0	0	0		兼17	—	
ゼミナール	ゼミナール	3・4通	4			○		12	5						
	小計 (3科目)	—	0	4	0	—		12	5	0	0	0		—	
合計 (393科目)		—	0	821	0	—		12	5	0	0	0		兼412	—
学位又は称号	学士 (経済学)		学位又は学科の分野			経済学関係									